

シラバス

専攻科

2024年度



埼玉医科大学短期大学

学籍番号	
氏名	

専攻科の 教育理念・教育目的・教育目標・三つの方針

教育理念

埼玉医科大学短期大学の教育の基本姿勢は、一般社会人としての幅広く豊かな教養と良識を持ち、生命に対する深い畏敬の念と人類愛を持って、積極的に社会に貢献できる人材を育成することである。母子看護学専攻の教育は医療全般にわたる広範な視野と高い見識を持ち、急速かつ多様に変化しつつある社会状況を的確にとらえ、対象者および家族・地域に対して母子看護専門職としての社会的役割を担う人材を育成することである。

さらに、本学は高度周産期医療機関であり地域医療の中核的役割を担っている埼玉医科大学病院に併設しているため、高い専門性を活かし専門的指導的役割を果たせる人材を育成しなければならない。以上の観点から教育目的・目標を次のように設定している。

教育目的

看護基礎教育を基盤として、母子看護学に関する教育研究活動を通し、専門的知識と技術を深く身に付け、社会に貢献できる助産師を養成する。

教育目標

1. 広範な視野と高い見識を持った社会人になる。
2. 多様に変化する社会状況及び価値観を的確にとらえ、高い専門性と指導的役割を担い生涯に亘って社会に貢献できる母子看護専門職業人になる。
3. 母子看護専門職として周産期医療の水準・向上に貢献できる人となる。

三つの方針

【ディプロマポリシー】

専攻科の課程を修め、授業科目区分毎の所定の単位を修得し、且つ修了要件の32単位以上を修得したものには、全ての女性および周産期にある母子とその家族に対して健康を支援し、地域母子医療・保健の向上に寄与できる助産師に相応したことを認め、修了を認定する。

〔学修成果〕

1. 広範な視野と高い見識を培う能力
 - (1) 生命に対する深い畏敬の念と人類愛を持つ。
 - (2) 倫理観を持った行動ができる。
 - (3) 社会情勢の変化を的確にとらえる。
2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力
 - (1) 女性の一生と家族のライフサイクルの健康を支援する。
 - (2) 高度周産期医療に対応する知識を持つ。
 - (3) 科学的思考を持ち総合的に判断する。

3. 地域の保健医療福祉水準の発展に貢献する姿勢を培う能力
 - (1) 社会資源を活用し、保健医療福祉の向上に貢献する。
 - (2) 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる。
4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力
 - (1) 生涯学習を行い自己研鑽する。
 - (2) 課題意識を持ち研究を行い、成果を活用する。

【カリキュラムポリシー】

女性と子どもの健康的な生活を支援するための基本理念と知識、周産期にある母子と家族のケアに必要な助産診断と実践のための基礎的能力を修得し、地域社会に貢献できる助産師を養成する教育課程を編成する。

1. 基礎助産学：女性と子どもの健康を支える基本理念と知識・技術を養う。
2. 助産診断技術学：助産学領域における専門的な実践能力を養う。
3. 地域母子保健：地域の特性を知り、助産師として多職種と協働できる能力・態度を養う。
4. 助産管理：助産管理者として必要な基礎的知識と能力を養う。
5. 助産学実習：知識を統合し、ウェルネスもしくは問題解決の視点で助産過程を展開できる能力を養う。

《ディプロマポリシーと授業科目の区分》

学修成果		授業科目の区分				
		基礎助産学	助産診断・技術学	地域母子保健	助産管理	助産学実習
1. 広範な視野と高い見識を培う能力	(1) 生命に対する深い畏敬の念と人類愛を持つ。	○				○
	(2) 倫理観を持った行動ができる。	○				○
	(3) 社会情勢の変化を的確にとらえる。	○		○		○
2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力	(1) 女性の一生と家族のライフサイクルの健康を支援する。	○	○	○		○
	(2) 高度周産期医療に対応する知識を持つ。	○	○			○
	(3) 科学的思考を持ち総合的に判断する。	○	○			○
3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う能力	(1) 社会資源を活用し、保健医療福祉の向上に貢献する。	○		○	○	○
	(2) 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる。	○		○	○	○
4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力	(1) 生涯学習を行い自己研鑽する。	○				○
	(2) 課題意識を持ち研究を行い、成果を活用する。	○				○

2024 年度 修正

《専攻科 ディプロマポリシーに示す学修成果のルーブリック評価表》

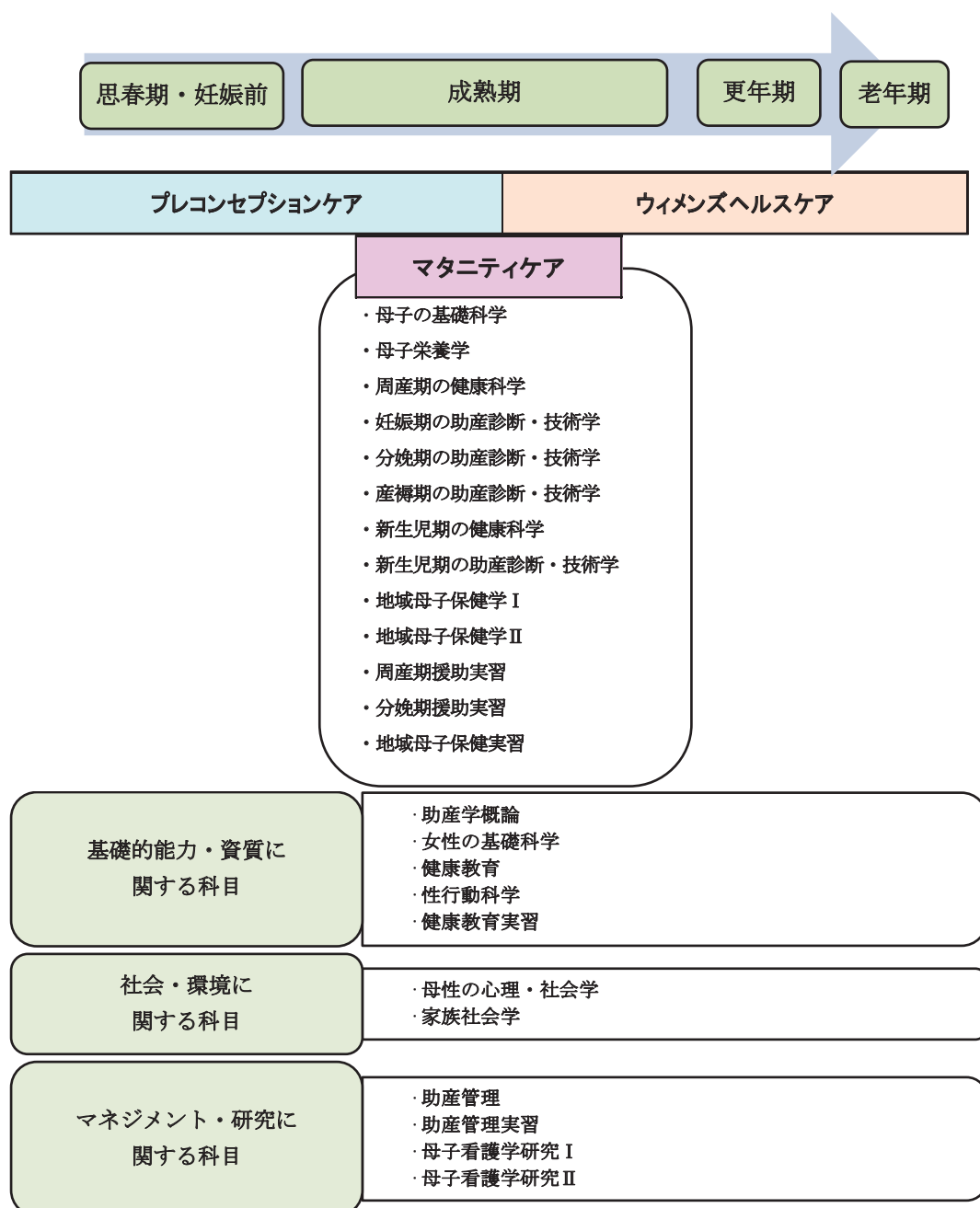
専攻科 学修成果		評価基準		
		Level I	Level II	Level III
1. 広範な視野と高い見識を培う能力	(1) 生命に対する深い畏敬の念と人類愛を持つ。	☐ 助産師として、生命に対して敬意を払い、権利を尊重することを理解している	☐ 助産師として、生命に対して敬意を払い、権利を尊重した行動がとれている	☐ 助産師として、生命に対して敬意を払い、権利を尊重した行動について提案ができる
	(2) 倫理観を持った行動ができる。	☐ 助産師として、性と生殖に対し、倫理観をもって行動しようと努めている	☐ 助産師として、女性および家族と関わる場面で倫理観をもって行動している	☐ 助産師として、あらゆる場面において、倫理観をもって行動している
	(3) 社会情勢の変化を的確にとらえる。	☐ 変化する社会情勢を理解している	☐ 社会情勢の変化が助産活動へ与える影響を捉えている	☐ 社会情勢に応じた助産師活動を明確にしている
2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力	(1) 女性の一生と家族のライフサイクルの健康を支援する。	☐ 女性のライフサイクルに応じた健康支援の方法を理解している	☐ 女性のライフサイクルに応じた健康支援の方法を部分的に活用している	☐ 女性のライフサイクルに応じた健康支援について工夫して活用している
	(2) 高度周産期医療に対応する知識を持つ。	☐ 高度周産期医療に対応する知識を理解している	☐ 高度周産期医療を受ける対象を捉えている	☐ 高度周産期医療に対するケアを探究している
	(3) 科学的思考を持ち総合的に判断する。	☐ 助産師に必要な知識・技術の活用方法を理解している	☐ 助産師に必要な知識・技術を活用できる	☐ 助産師に必要な知識・技術をあらゆる場面で活用できる
3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う能力	(1) 社会資源を活用し、保健医療福祉の向上に貢献する。	☐ 地域で活用できる社会資源を理解している	☐ 社会資源を部分的に活用している	☐ 社会資源を多角的に捉え活用している
	(2) 保健医療福祉チームの一員として多職種と連携し協働できる。	☐ 多職種と連携する必要性を理解している	☐ 保健医療福祉チームの一員として、助産師の役割を自覚し行動している	☐ 保健医療福祉チームの一員として、多職種と協働している
4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力	(1) 生涯学習を行い自己研鑽する。	☐ 助産師として専門的自立能力を維持する必要性を理解している	☐ 助産師としての課題を見だし、成長する努力をしている	☐ 助産師として課題をもち、継続的に学習している
	(2) 課題意識を持ち研究を行い、成果を活用する。	☐ 助産師活動の質を補償するために研究する必要性を理解している	☐ 自ら行った助産師活動を研究的に検証できる	☐ 研究した結果に基づき今後の研究活動を明確にしている

2022 年度

1. 専攻科の科目構成構造図

望ましい助産師教育のコア・カリキュラムを参考にA. 助産師 として求められる基本的な資質・能力、B. 社会・環境と助産学、C. マタニティケア、D. プレコンセプションケア、E. ウィメンズヘルスケア（プレコンセプションケアを除く）、F. マネジメント・助産政策、G. 助産学研究の7つの大項目から構成した。

- ・主軸となるマタニティケアには、ローリスクからハイリスクまでのすべてを含めた
- ・切れ目のないケアとして、医療機関内、地域社会ケア、妊娠期から育児期迄の継続ケアを含めた
- ・プレコンセプションケアを独立させ、意識させた
- ・更年期から老年期女性のケアの強化としてウィメンズヘルスケアを独立させた
- ・社会的な側面として、多様な文化的背景をもつ母子やその家族の理解とケアを含めた
- ・マネジメント・助産政策を1つの柱とし、社会変化に参画していく視点を強調した



2. 専攻科の科目進度

[illegible]

目 次

No	科目名	担当者	ｺｰｽﾅﾝﾊﾞｰ	頁
1	助産学概論	<u>稲井洋子</u> ・岡本喜代子	9101	1
2	女性の基礎科学	<u>高井泰</u> ・五味陽亮・板谷雪子・高村将司・難波聡 高橋幸子・大原正裕	9102	4
3	母子の基礎科学	<u>亀井良政</u> ・田丸俊輔・馬場一憲	9103	6
4	性行動科学	<u>齋藤益子</u> ・虎井まさ衛・齋藤章佳	9104	8
5	母性の心理・社会学	<u>安田貴昭</u> ・菅沼真樹	9105	10
6	家族社会学	<u>對馬秀子</u>	9106	12
7	母子栄養学	<u>竹下美穂</u> ・須田幸子	9107	14
8	健康教育	<u>稲井洋子</u> ・北川典子・岡部史恵・高橋紗耶香	9108	15
9	母子看護学研究Ⅰ	<u>稲井洋子</u>	9109	17
10	母子看護学研究Ⅱ	<u>稲井洋子</u>	9110	19
11	周産期の健康科学	<u>梶原健</u> ・山口哲・吉田智昭・齋藤良平 霞澤亘・川嶋直之・照井克生・相馬廣明・高村将司	9201	21
12	妊娠期の助産診断・技術学	<u>北川典子</u> ・稲井洋子・岡部史恵・高橋紗耶香・非常勤教員	9202	24
13	分娩期の助産診断・技術学	<u>稲井洋子</u> ・北川典子・岡部史恵・高橋紗耶香・非常勤教員	9203	27
14	産褥期の助産診断・技術学	<u>北川典子</u> ・稲井洋子・阿部一子・岡部史恵・高橋紗耶香・ 非常勤教員	9204	30
15	新生児期の健康科学	<u>側島久典</u> ・國方徹也・本多正和・加部一彦・非常勤教員	9205	33
16	新生児期の助産診断・技術学	<u>北川典子</u> ・稲井洋子・岡部史恵・高橋紗耶香・非常勤教員	9206	35
17	地域母子保健学Ⅰ	<u>本橋千恵美</u>	9301	37
18	地域母子保健学Ⅱ	<u>稲井洋子</u> ・加部一彦・斎藤俊子	9302	39
19	助産管理	<u>稲井洋子</u> ・武藤光代・山口次子・谷島春江・中島桂子	9401	42
20	周産期援助実習	<u>北川典子</u> ・稲井洋子・岡部史恵・高橋紗耶香・非常勤教員	9501	45
21	分娩期援助実習	<u>北川典子</u> ・稲井洋子・岡部史恵・高橋紗耶香・非常勤教員	9502	47
22	地域母子保健実習	<u>北川典子</u> ・稲井洋子	9503	48
23	助産管理実習	<u>稲井洋子</u>	9504	49
24	健康教育実習	<u>稲井洋子</u> ・北川典子・岡部史恵・高橋紗耶香	9505	51

* 下線は科目筆頭者である

教員実務経験一覧

区分	科目名	単位	時間	担当教員	実務経験を活かした教育内容
基礎助産学	助産学概論	1	15	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、助産師をめぐる動向、専門職としてのあり方について教授する。
	女性の基礎科学	1	30	医師 臨床心理士	医師、臨床心理士として実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、女性の健康に関する基礎的な知識について教授する。
	母子の基礎科学	1	15	医師 臨床心理士	医師、臨床心理士として実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、母子の健康と女性の各ライフステージ上の健康に関する基礎的な知識について教授する。
	性行動科学	1	15	助産師 社会福祉士、他	助産師、社会福祉士としての実務経験を持つ教員と性同一性障害に関する作家から、性に関する専門職としての基礎的な指導力について教授する。
	母性の心理・社会学	1	15	医師 臨床心理士	精神科学／臨床心理学を専門とした実務経験を持つ教員がその経験を活かして、精神疾患と母子の心理的援助をする為の基礎的な知識を教授する。
	家族社会学	1	15	社会学者	社会学／社会科学専門とした実務経験を持つ教員がその経験を活かして、わが国の家族の変化と家族をめぐる諸問題について教授する。
	母子栄養学	1	15	管理栄養士	管理栄養士として実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、母性のライフステージ、マタニティサイクルにおける栄養について教授する。
	健康教育	1	15	助産師	助産師・看護師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、健康教育の基礎的知識を教授する。
	母子看護学研究Ⅰ	1	15	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、研究活動を行うための基礎的な知識について教授する
	母子看護学研究Ⅱ	2	60	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、専門職としての研究的姿勢と論文作成について指導する。
助産診断・技術学	周産期の健康科学	1	30	医師	医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、周産期にある女性の健康に関する知識と医療技術について教授する。
	妊娠期の助産診断・技術学	2	45	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、妊娠期にある対象の診断技術と助産実践技術について教授する。
	分娩期の助産診断・技術学	3	60	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、分娩期にある対象の診断技術と助産実践技術について教授する。
	産褥期の助産診断・技術学	2	45	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、産褥期にある対象の診断技術と助産実践技術について教授する。
	新生児期の健康科学	1	30	医師 NCPR インストラクター	医師、NCPR インストラクターとしての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、胎生期から乳児にある子どもの診断技術と援助技術について教授する。
	新生児期の助産診断・技術学	1	30	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、新生児期にある対象の診断技術と助産実践技術について教授する。
地域	地域母子保健学Ⅰ	1	15	保健師	保健師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、地域における母子保健活動の基礎的知識について教授する。
	地域母子保健学Ⅱ	1	15	医師 助産師	医師、助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、地域における母子保健活動の基礎的な健診知識とその実際について教授する。
管理	助産管理	2	30	助産師	管理職としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、助産業務に必要な管理とリスクマネジメントおよび助産倫理について教授する。
助産学実習／ 臨地実習	周産期援助実習	3	135	助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、周産期にある対象(新生児含)の診断技術と助産実践技術について指導する。
	分娩期援助実習	6	270	助産師 医師	助産師、医師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、分娩期にある対象の診断技術と助産実践技術について指導する。
	地域母子保健実習	1	45	助産師 保健師	保健師、助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、地域における母子保健活動の実際について指導する。
	助産管理実習	1	45	助産師 開業助産師	助産師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、助産所運営とその実際について指導する。
	健康教育実習	1	45	助産師 保健師	助産師、保健師としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かして、健康教育を受ける対象の集団指導技術について指導する。

授業科目の区分		基礎助産学					R6（2024）年度
授業科目名		コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
助産学概論		9101	講義	通年	必修	1／15	稲井 洋子
概要：助産学の基本的な概念と関連する理論を理解し、助産師の責務を遂行する為の役割や業務範囲、関連法規を理解する。また、助産師を取り巻く社会の現状と動向、母子保健の動向、助産師の倫理について理解を深める。さらに諸外国の動向を学び、助産師としてのあり方と助産診断と助産ケアの実践の基礎を学ぶ。							岡本 喜代子
目的：助産の基本概念を助産の変遷・文化から捉え、助産の対象、助産師の定義、倫理、職性と業務、ケア提供における助産過程の考え方について学習する。また、母子保健の変遷から助産師のあり方と将来を展望する。							
到達目標： 1. 助産の変遷と母子保健の動向について説明できる。 2. 助産師の定義と業務、助産師と倫理について説明できる。 3. 助産師としてのあり様を展望できる。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 ／(1) (2) (3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 ／(1) (3) DP4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力 ／(1) (2)							
成績評価方法： 1. 定期試験（筆記試験）（90％） 2. 学習態度（10％） 成績評価基準： 本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日(曜)	授業項目	内 容				担当者
1	4/5（金）	母子保健の動向(1) 助産師の倫理	1. 性と生殖および母子を取り巻く社会の変化について 1)わが国の母子保健の動向、助産の変遷と助産師教育 2)助産師の倫理 3) 助産師としての責務 ①助産の意義と助産の定義 ②日本助産師会、ICM（国際助産師連盟）、WHO（世界保健機関）の助産師の定義、役割 ③母子とその家族および女性のもつ価値観や社会的背景の多様性の理解 教科書(4)第1章, 第5章, 第4章, 第2章 【課題1】教科書(1)				稲井
2	4/5（金）	助産師活動を 支える基礎(1)	1. 助産師のケアの基盤となる概念 セルフケア理論、アタッチメント理論、役割理論、ルービンの母性論など 2. 助産過程と臨床推論 1) 事象の解釈・判断、対応を決定する思考プロセス 2) ウェルネスの概念と考え方 3) マタニティ診断の特徴・意義 4) 診断過程と実践過程 教科書(4)第3章, (5)第1部序章B, (6), (7)				稲井
3	4/8（月）	助産師活動を 支える基礎(2)	2. 指導・教育活動について 1)援助技術の基本 2)指導案の作成の意図と手順 ①援助技術の基本、 ②個人・集団へのアプローチ方法 ③指導案の作成の意図と手順 配付資料（本学専攻科の実習記録）				稲井

4	4/23 (火)	母子保健と助産の変遷 (1) (2)	1. 助産と助産師制度の変遷、現在の助産制度と助産師活動の課題について 2. 母子保健の専門職としての助産師の役割について (現在および今後の社会状況を含) 教科書(4)第1章, 第5～6章, (配付資料) 【課題2】教科書(2) (3)	岡本
5	4/23 (火)			岡本
6	7/1 (月)	助産師と関係法規および責務	1. 母子保健関係法規と諸制度について 1) 母子保健法 2) 児童福祉法 3) 保健師助産師看護師法 4) 医療法 5) その他：産科医療保障制度 等 2. 助産師としての責務 1) 助産師のコアコンピテンシー 教科書(4)第2章-符章, (8)第2章 (配付資料)	稲井
7	1/10 (金)	助産師の生涯教育と専門性の発展	1. 生涯教育の必要性 ①助産師の歴史、法的責任 ②取り巻く現状の再認識、近年の法律改正 ③助産師の役割の再確認 ④助産師として目指すべき方向性 2. 助産学の専門性の発展 ①キャリア開発、発展の理論 ②後輩育成 教科書(4)第1章, 第5～6章, 第7章, (配付資料)	岡本
8	1/10 (金)			岡本
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望および課題 ①【課題1】 教科書「助産師ものがたり」を読んで、助産師としての一年間の目標について述べてください。 400字詰原稿用紙1枚〔縦用紙―横書き〕 ※ WebClassの書式見本 (Word) を参照。表紙は不要 ※ 提出用以外に、自分のポートフォリオファイルに綴じて保管すること。 <u>提出期限：2024年4月22日(月) 8:50 短大4階 Mail Box</u> ②【課題2】 下記の教科書2冊を読み感想文を提出 a) 「助産力」日本助産師会出版会／400字詰原稿用紙1枚〔縦用紙―横書き〕 b) 「子宮力」日本助産師会出版会／400字詰原稿用紙1枚〔縦用紙―横書き〕 ※a)とb)共に表紙は不要 <u>提出期限：2024年4月22日(月) 8:50 短大4階 Mail Box</u> ③該当する部分のテキストを読み、予習して授業に臨んでください。(30分程度) ④次回授業に向けて参考文献等を活用し復習をして、授業に臨んでください。(30分程度) ⑤前期と後期にまたがる科目です。臨地実習の際も「助産師とは何か」「関連する法律は何か」などを常に意識し、学んで欲しいと思います。				
オフィスアワー： (1)授業終了後に教室で質問を受け付けます。 (2)授業時間外の質問は、研究室22 稲井までお越しください。				

教科書：

〈課題で使用〉

- (1) 齋藤益子編：助産師ものがたり、クオリティケア、2020.
- (2) 進純郎、岡本喜代子著：助産力、日本助産師会出版会、2014.
- (3) 進純郎著：子宮力、日本助産師会出版会、2014.

〈講義で使用〉

- (4) 我部山キヨ子、安達久美子編：助産学講座 基礎助産学[1] 助産学概論 第6版(2022年改訂)、医学書院
- (5) 堀内成子、片岡弥恵子編：助産学講座 [5] 助産診断・技術学Ⅰ 第6版(2021年改訂)、医学書院
- (6) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断 第5版、医学書院、2021.
- (7) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック 第6版、医学書院、2020.

参考書：

- (1) 工藤美子編：助産師基礎教育テキスト 第1巻(2024年版) 助産概論/母子保健、第1版、日本看護協会出版会、※
- (2) 公益財団法人母子衛生研究会編：母子保健の主なる統計 令和5年刊行、母子保健事業団、2023. ※
- (3) 財団法人母子衛生研究会編：わが国の母子保健 令和5年、母子保健事業団、2023. ※
- (4) 太田操著：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版、医歯薬出版、2017.
- (5) 日本助産師会編集・監修：助産業務ガイドライン 2019、日本助産師会出版、2019.
- (6) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2023、
日本産婦人科学会事務局、2023.
- (7) 産科医療補償制度の資料・報告書、再発防止委員会からの提言集、公益社団法人日本医療機能評価機構 HP
(<http://www.sanka-hp.jcqhc.or.jp/documents/prevention/index.html>)
- (8) 我部山キヨ子編：助産学講座 [10] 助産管理、第6版(2022年改訂)、医学書院
- (9) 看護行政研究会編：看護六法、令和5年度版、新日本法規出版株式会社、2023.
- (10) その他 日本助産師会、ICM のホームページ等の資料(講義時に紹介する)

※印の書籍は、国家試験対策として一読されることをお勧めします。

授業科目の区分		基礎助産学					R6 (2024) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担 当 教 員	
女性の基礎科学	9102	講義	前期	必修	1／30	高井 泰 五味 陽亮 板谷 雪子 高村 将司 難波 聡 高橋 幸子 大原 正裕	
概 要:性と生殖に関する医療や女性の健康に影響を及ぼす疾病の病態や治療、予防について学ぶ。							
目 的:性と生殖に関する医療と女性の健康に影響を及ぼす疾患について理解する。							
到達目標: 1. 生殖に関するホルモン動態・生殖機能について説明できる。 2. 加齢と性機能について説明できる。 3. 女性の各ライフステージ上における健康課題について説明できる。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連: DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 / (1) (2) (3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1) (2) DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う / (1)							
成績評価方法: 定期試験(筆記試験)(90%)、学習態度(10%) 成績評価基準: 本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験(筆記試験)・学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日	授業項目	内 容			担当	
1	4/10 (水)	女性と男性の生殖器系の構造と機能	形態と機能における男女差 性器の形態的特徴(内性器・外性器の構造と機能)神経と血管の構造 性機能の発達と加齢変化 教科書(1)第1章			五味	
2	4/10 (水)	生殖生理に関する視床下部・下垂体系機能 卵巣機能	視床下部・下垂体系の形態と機能 視床下部ホルモン、下垂体ホルモン、フィードバック機構 月経周期におけるホルモン分泌の変動、性周期の調節機構 卵巣の形態と卵巣周期、卵巣の機能と妊孕性、排卵の診断と予知、排卵誘発と抑制、卵巣機能検査 教科書(1)第1章			五味	
3	4/16 (火)	思春期、成熟期女性に特有な健康課題	性器の奇形・異常、初経(早発月経、遅発月経)、月経周期の異常(月経不順、稀発月経、無月経)、過多月経、過少月経、月経困難症、月経前症候群PMS、月経前気分不快障害PMDD、やせ、体重減少性無月経、神経性無食欲症、肥満、多嚢胞性卵巣症候群PCOS、ピルを用いた月経調整、人工妊娠中絶 教科書(1)第8章			板谷	
4	4/16 (火)	更年期・老年期に特有な健康課題	閉経・更年期障害、骨粗しょう症、脂質異常症、運動不足 尿失禁、排尿障害、過活動膀胱、骨盤臓器脱、萎縮性膣炎 教科書(1)第8章			板谷	
5	6/3 (月)	不妊症の診断	不妊症とは、(定義と原因、エイジングと不妊症) 不妊症の検査 卵管疎通性の障害、排卵障害、子宮内膜症と不妊 乏精子症、精液検査、精子機能検査、精索静脈瘤等 教科書(1)第1章D, 配付資料			高村	
6	6/3 (月)	生殖補助医療の実際	人工授精、精子処理法、体外受精、生殖細胞凍結、卵管不妊、排卵誘発法、着床前遺伝子診断、精子の回収 生殖医療の問題点 教科書(1)第4章			高村	
7	6/28 (金)	不妊治療の問題点	妊娠前スクリーニングの重要性、生活習慣と不妊症、仕事との両立、経済的支援 教科書(1)第4章			高井	
8	6/28 (金)	生命倫理	配偶子の提供、代理母、死後生殖による妊娠、減胎手術、高年齢の妊娠、デザイナーベビー 生殖医療の今後 教科書(1)第4章			高井	

9	5/21 (火)	遺伝と遺伝性疾患(1)	1. 遺伝に関する基礎的内容 (ヒトの染色体の分裂や構造、遺伝形式)	難波
10	5/28 (火)	遺伝と遺伝性疾患(2)	2. 代表的な染色体異常症候群の染色体異常とその症状 3. 代表的な遺伝性疾患 (常染色体優性・劣性遺伝、X連鎖優性・劣性遺伝) とその症状 教科書(1)第3章	難波
11	6/4 (火)	出生前診断の方法	1.出生前診断に関する基礎(出生前診断の概念・目的・倫理) 2.出生前検査の方法 (絨毛検査、羊水検査、母体血清マーカー検査、胎児採血、母体血胎児染色体検査 (NIPT)、超音波画像診断、着床前遺伝学的検査 教科書(1)第3章	難波
12	6/11 (火)	性感染症	性感染症の動向、病態生理、治療と支援 (総論、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、ヒト免疫不全ウイルスHIV、後天性免疫不全症候群AIDS、クラミジア感染症、淋菌、梅毒、ヒトパピローマウイルスHPV感染症、カンジタ症・トリコモナス膣炎・疥癬) 教科書(1)第6-7章	高橋
13	6/13 (木)	生殖器別にみた疾患(1)	炎症性疾患 (尿道炎、膀胱炎、腎盂腎炎、子宮頸管炎、子宮内膜炎・筋膜炎、外陰炎、膣炎、骨盤腹膜炎) 子宮腫瘍 (子宮肉腫、子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮ポリープ)、 卵巣腫瘍 (卵巣嚢腫、卵巣がん)、子宮内膜症、 教科書(1)第9章	高橋
14	6/18 (火)	生殖器別にみた疾患(2)	生殖器系の腫瘍の動向 子宮がん、子宮頸がんの病態生理と診断方法、治療方法 定期健診・スクリーニングの必要性 (自己診断と必要性、パップスメア) 教科書(1)第6-7章	高橋
15	6/18 (火)	生殖器別にみた疾患(3)	乳房の疾患の病態・検査・治療、 乳腺疾患の動向 乳がんの病態生理と診断方法、治療方法 スクリーニングの方法 (視触診、マンモグラフィー超音波断層法、) 教科書(1)第9章	大原
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望および課題 ①概要に該当する部分を予習(30分以上)して授業に臨んでください。 ②授業後は授業内容を復習(30分以上)してください。				
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。				
教科書 (1) 我部山キヨ子、武谷雄二、藤井知行編：助産学講座 2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学、第6版、医学書院。				
参考書 (1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ[1] 妊娠期、第6版、医学書院。 (2) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ[2] 分娩期・産褥期、第6版、医学書院。 (3) 工藤美子編：助産師基礎教育テキスト 第1巻(2024年版) 助産概論、第1版、日本看護協会出版会。 (4) 吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト 第2巻(2024年版) ウイメンズヘルスケア、第1版、日本看護協会出版会。 (5) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第4巻(2024年版) 妊娠期の診断とケア、第1版、日本看護協会出版会。 (6) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2024年版) 産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア、第1版、日本看護協会出版会。 (7) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2024年版) ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、日本看護協会出版会。 (8) 青野敏博著：産婦人科におけるホルモン療法の実践 永井書店、1994。 (9) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第3版、メディックメディア、2018。 (10) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol.10 産科 第3版、メディックメディア、2018。				

授業科目の区分		基礎助産学					R6(2024)年度
授業科目名		コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担 当 教 員
母子の基礎科学		9103	講義	前期	必修	1／15	亀井 良政
概 要：母子の健康に影響をおよぼす要因を理解し、母子の健康管理について学ぶ。							田丸 俊輔
目 的：母子の健康に影響をおよぼす要因について理解し、母子の健康を管理するための知識や技術・態度を養う。							馬場 一憲
到達目標：1. 免疫・母子感染・薬剤・嗜好品や社会的要因が母体におよぼす影響を説明できる。 2. 正常な発育の評価と分娩時における正常からの逸脱の早期発見について理解できる。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 / (1) (2) (3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1) (2)							
成績評価方法：定期試験（筆記試験）（90%）、学習態度（10%） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日(曜)	授業項目	内 容				担当者
1	4/11（木）	母子と免疫	母体の免疫学的特性(妊娠を成立させる免疫学的な機構、不育症、母子間血液型不適合妊娠) 教科書(1)第5章				田丸
2	4/11（木）	母子と感染	母子感染の機序と病態、検査、治療 風疹、クラミジア、GBS、トキソプラズマ、HBV、HCV、ヘルペス、パルボウイルス、サイトメガロウイルス、HIV、HTLV、梅毒 教科書(1)第6章・第7章				田丸
3	4/25（木）						田丸
4	4/25（木）	母子と薬物・嗜好品 母子と生活環境	タバコ、アルコール、依存性薬物、妊娠期に用いる薬剤 教科書(2)第3章、(6)付章2 放射線、電磁波、大気汚染、環境物質 教科書(2)第1章				田丸
5	5/10（金）	超音波検査(1)	超音波診断装置の基礎と装置の使い方 超音波の見方（妊娠初期・妊娠中期・後期） 胎児の発育・健康状態の評価 教科書(3)				馬場
6	5/10（金）	超音波検査(2)					馬場
7	5/24（金）	分娩監視装置(1)	分娩監視装置の基礎と使い方、CTGの読み方 CTGによる胎児診断、NST 胎児の健康状態の評価 教科書(4)				馬場
8	5/24（金）	分娩監視装置(2)					馬場
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望 ① 概要に該当する部分を予習(30分以上)して授業に臨んでください。 ② 授業後は授業内容を復習(30分以上)してください。							
オフィスアワー： 授業終了後に教室で質問を受け付けます。							

教科書：

- (1) 我部山キヨ子、武谷雄二、藤井知行編：助産学講座 2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学、第 6 版、医学書院
- (2) 我部山キヨ子編：助産学講座 3 基礎助産学[3] 母子の健康科学、第 6 版、医学書院
- (3) 馬場一憲編：目でみる妊娠と出産、文光堂、2013.
- (4) 馬場一憲、松田義雄著：CTG モニタリングテキスト改訂版、東京医学社、2018.

参考書：

- (1) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第 4 巻(2024 年版) 妊娠期の診断とケア、第 1 版、日本看護協会出版会.
- (2) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト 第 6 巻(2024 年版) 産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア、第 1 版、日本看護協会出版会.
- (3) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第 7 巻(2024 年版) ハイリスク妊産褥婦・新生児のケア、第 1 版、日本看護協会出版会.
- (4) 佐藤孝道 監修/編：実践妊娠と薬 第 2 版 -10,000 例の相談事例とその情報 単行本-、じほう、2010.
- (5) 伊藤 真也、村島 温子編：薬物治療コンサルテーション 妊娠と授乳 改訂第 3 版、南山堂、2020.
- (5) 木下勝之、馬場一憲指導：ビデオ「正しい超音波診断のために」、メジカルビュー社
- (6) 馬場一憲、市塚清健編：正常がわかる胎児超音波検査、文光堂、2016.
- (7) 馬場 一憲、市塚 清健編：超音波胎児形態異常スクリーニング―産婦人科医・助産師・臨床検査技師のために 文光堂、2015.
- (8) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol. 10 産科 第 4 版、メディックメディア、2018.

授業科目の区分		基礎助産学					R6 (2024) 年度
授業科目名		コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
性行動科学		9104	講義	前期	必修	1／15	齋藤 益子
概要：人間にとっての性は、「生殖」を自らコントロールしながらふれあいの喜びを分かち合うことにある。そのことをベースにして、両性とマイノリティの性について深く学び、安心と安全のための性行動への選択力と指導する力を身に付ける。							虎井まさ衛 齋藤 章佳
目的：現在社会に於ける性情報が乱れ、青少年の生き方や行動に大きく影響している。本科目を学ぶことで、性の在り方について深く考え、情報に流されず納得できる自分の性行動を確立するための基礎的態度を身に付け、性に関する専門職として性教育ができる力を身につける。							
到達目標：助産師として性の健康教育を行う立場から、女性・男性・子どもたちがそれぞれにしあわせな人生を歩むための適切な助言ができ、多様な性を理解し、性行動に伴う諸問題を認識して、それぞれの性のあり様について支援できる力を身に付ける。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 ／(1) (2) (3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 ／(1) DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う／(1)							
成績評価方法： 1. 課題レポート 50%、 2. 授業への出席 24%、 3. 学習態度・発言・参加度 26% 成績評価基準： 本科目の到達目標に対する到達度とし、課題レポート・授業参加度・学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日(曜)	授業項目	内 容				担当者
1	4/26 (金)	性をめぐる基礎理解	両性の対等・平等性がすすむ中で、性のあり方・意味がどのようにになっているか。 教科書(1) 第1章				齋藤益子
2	4/26 (金)	生物的性と性別役割 (1)	男と女はどのように分かれるか、そのメカニズムを考え、性別役割との関係をさぐる。 教科書(1) 第1.2章				齋藤益子
3	5/10 (金)	性の普遍性・多様性(1)	マイノリティの性について学び、性的マイノリティとは何かを考える。 教科書(1) 第3章				齋藤益子 虎井まさ衛
4	5/10 (金)	性の普遍性・多様性(2)	性同一性障害当事者の話を聞き、LGBTへの理解を深める 教科書(1) 第3章				
5	5/17 (金)	性の分化と性別役割 (2)	差から性役割、さらに性別役割の問題をジェンダーの視点から見つめてみる。 教科書(1) 第1.2章				齋藤益子 齋藤章佳
6	5/17 (金)	性的欲求と性行動 (1)	レイプ・セクハラ・性暴力・売買春等について学び、安心と安全の関係をさぐる。 教科書(1) 第3章				
7	5/31 (金)	性的欲求と性行動 (2)	性的欲求と性行動に伴う諸問題について考える。 性感染症とその予防教育を考える。 教科書(1) 第3章				齋藤益子
8	5/31 (金)	性愛のゆくえ 「人間と性」まとめ	エロス、共生、結婚、家族とは何かを考える。 助産師としてのこれからの課題を考える。 相談・教育活動 他 教科書(1)第6.7章、教科書(2), (3)第2章				

履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望および課題 ①授業を受け、自分の考えを持ち、それをお互いに交流することに積極的に参加する。 ②授業は教授型に偏らず、意見感想等の積極的交流してすすめる。 ③提出された課題については授業内外において返却・解説を行う。 ④授業に際しテキストを読むこと。予習 30 分以上、復習 30 分以上の授業外学習を行うこと。
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付ける。
教科書： (1)性の健康医学財団, 齋藤益子編：性の健康と相談のためのガイドブック 中央法規, 2014 (2)齋藤益子編：助産師ものがたり、クオリティケア、2020. (3)堀内成子、片岡弥恵子編：助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ、第6版、医学書院
参考書： (1) 杉田聡著：AV 神話 アダルトビデオをまねてはいけない、大月書店、2008. (2) 粕潤一・佐藤明子・水野哲夫・村瀬幸治（共著）：改訂新設『ヒューマン・セクソロジー』（子どもの未来社）2020. (3) 野宮 亜紀/針間 克己/大島 俊之/原科 孝雄/虎井 まさ衛（他著）：プロブレムQ&A性同一性障害って何？一人一人の性のありようを大切にするために、緑風出版、2011. (4) 監修 日本性科学会 川井弘光：改訂第2版 セックス・カウンセリング「入門」、金原出版株式会社、2015.

授業科目の区分		基礎助産学					R6(2024)年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員	
母性の心理・社会学	9105	講義	前期	必修	1／15	安田 貴昭	
概要：周産期にある対象のメンタルヘルスの現状を理解し、病態生理とその治療方法について学習する。また、スクリーニングの方法、治療、面接技法の基礎的知識と実際について学ぶ。						菅沼 真樹	
目的：1. 周産期のメンタルヘルスの現状と課題を理解する。 2. 周産期のスクリーニング方法、疾患と障害、治療方法について理解する。 3. 周産期にある対象への面接技法の基礎的知識とスキルを深める。							
到達目標：周産期のメンタルヘルスについて理解ができる。 助産師として、周産期にある対象の心理的援助方法が理解できる。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 / (1) (2) (3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1) (2) (3) DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う能力 / (1) (2)							
成績評価方法：1. 定期試験（学科試験）（90%）、2. 学習態度(10%)							
成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、レポート・学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者	
1	6/28 (金) 4 限	周産期のメンタルヘルスの現状と重要性	1. 妊産婦のメンタルヘルスの現状 ～心の問題とケア～ 2. 妊産婦のメンタルヘルスの基礎知識 1) 妊産婦の心理 2) 母子の関係性（母子相互作用、愛着形成、他） 教科書(1) (2) 配付資料			安田	
2	7/5 (金) 3 限	妊婦・褥婦へのスクリーニング	1. 3つの質問票 （育児支援チェックリスト、EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票） 2. 母子保健支援連絡票、アセスメントシート、2項目質問票 教科書(1) (2) (3) 配付資料			安田	
3	7/5 (金) 4 限	疾病と障害①	1. 統合失調症 2. 双極性障害と産褥精神病 3. うつ病 4. 不安症（恐怖症、パニック症、全般性不安症）、強迫症 5. 知的障害、自閉症スペクトラム症（発達障害）、パーソナル障害 6. ストレスに伴う身体症状（心身症、変換症、身体症状症等）			安田	
4	7/12 (金) 3 限	疾病と障害②	7. PTSD 8. 摂食障害 9. てんかん 10. ボンディング形成とその障害 教科書(1) (4) 配付資料			安田	
5	7/12 (金) 4 限	治療制度と医療福祉多職種連携	1. 精神科の薬物療法、精神療法と心理療法 2. 制度、医療・保健・福祉が連携した支援体制 3. 多職種共同連携チームの必要性 教科書(1) (2) (3) (4) 配付資料			安田	
6	6/13 (木) 3 限	面接の実際女性のメンタルヘルス①	1. 面接技法の基礎的知識 2. 女性のメンタルヘルス 1) 遺伝、不妊・不育、			菅沼	
7	6/13 (木) 4 限	女性のメンタルヘルス②	ペリネイタルロスへのカウンセリングと対応の実際 教科書(4) 配付資料			菅沼	
8	7/4 (木) 3 限	周産期のメンタルヘルス	1. 妊娠期から産褥期のカウンセリングと対応方法の実際 2. 他職種共同連携チームの必要性 教科書(1) (2) (3) (4) 配付資料			菅沼	

履修者へのコメント： (1) 履修条件なし (2) 履修にあたっての心構えと要望 ① 少人数の授業なので、積極的に授業に参加してもらいたい。 ② 毎回、前回授業のまとめと振り返りをするので、ノートを忘れないこと。 ③ ノートを使用して予習 30 分以上、復習 30 分以上の授業外学習を行うこと。
オフィスアワー： 質問等は授業終了後に受け付ける。
教科書： (1) 安田貴昭編著：周産期メンタルヘルスのためのいちばんやさしい精神医学、中外医学社、2022. (2) 公益社団法人日本産婦人科医会：妊産婦メンタルヘルスクエアマニュアル ～産後ケアへの切れ目のない支援に向けて～、中外医学社、2021. (3) 吉田敬子、山下洋、鈴宮寛子監修：妊娠中から始めるメンタルヘルスクエア ～多職種で使う 3 つの質問票～、日本評論社、2017. (4) 我部山キヨ子、菅原ますみ編：助産学講座 4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学、第 6 版(2024 年改訂)、医学書院
参考書： 開講後提示

授業科目の区分		基礎助産学					R6（2024）年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員	
家族社会学	9106	講義	前期	必修	1／15	對馬 秀子	
概要：近年の家族を形成する結婚や親子のあり方は、複雑かつ多様化し、家族の形は変化してきた。家族の規模の縮小、離婚・再婚の増加、医療の高度化、地方の少子・高齢など、家族および地域社会における子どもを育て支える仕組みが弱体化しつつある。しかし、子どもが安心して育つうえで家族および地域社会の役割は大きい。家族は私的な集団であるが、社会制度として、そのあり方は民法に規定されている。そして今、子ども・家族をめぐる法律案や憲法改正案が次々に打ち出され、親子に関する民法の一部が 2022 年に改正された。親子の成立に立ち会う助産師としての基本知識形成に役立つよう、家族の変遷、憲法・民法の規定、夫婦関係、親子関係を中心に家族について学ぶ。							
目的：子どもを産み育てる場としての家族という視点から、今日の家族をめぐる諸問題を明確にする。家族内の人間関係、夫婦関係、親子関係について考える。憲法・民法に何が謳われているのか、子どもの権利・親の義務とは何か、家族とは何かを考える。							
到達目標：家族の姿はこれからも変化するであろう。共働き世帯の増えた現代家族について、若い世代が抱える問題と課題について考える。父・母・子・祖父母など家族成員それぞれの立場から家族について考え、助産師として家族への理解を深めること。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学習成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力／(1)(2)(3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力／(1)							
成績評価方法：定期試験（筆記試験）（80％）発表など学習態度（20％） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者	
1	4/8（月）	家族とは何か	選択夫婦別姓と伝統的家族観、こども家庭庁、家から家庭 家族の定義、類型、機能 到達目標：現代社会における家族の動向 教科書（1）第3章、配付資料			對馬	
2	4/15（月）	家族の変遷	近代家族：男性優位の社会体制・家父長制、家制度の成立 戦後日本国憲法制定・民法改正下の男女平等の夫婦関係 到達目標：憲法・民法から学ぶ伝統的家族と現代家族 教科書（1）第3章、(2)、配付資料			對馬	
3	4/22（月）	家族を創る	結婚：届出婚・事実婚、その他の形、国際結婚 到達目標：現代社会における結婚について考える。 教科書（1）第3章、(2)、配付資料			對馬	
4	4/22（月）	親子関係 子どもの権利と社会化	法に規定されたさまざまな親子関係 子どもの社会化：家族・地域・社会における子ども 子どもの権利に関する歴史、発表：コルチャック先生 到達目標：民法に規定された親子関係、子どもの権利 教科書(1)第3・5章、(2)、配布資料			對馬	
5	4/30（火）	家族・個人の発達課題	「心理・社会的」発達論（エリクソン）の発達課題 発表：佐々木正美「はじまりは愛着から」 到達目標：家族・個人の発達課題について考える。 教科書(1)第3・4・5章、配付資料			對馬	
6	4/30（火）	子どもの育ち	発表：子どもの成長・発達に関する著作より 高橋孝雄著・岡田尊司・岸見一郎の著 到達目標：子どもの成長・発達・愛着問題について考える。 教科書 第4章、参考書（15）、配付資料			對馬	

7	5/7 (火)	家族の危機	ストレス、夫婦関係の解消、親の離婚 発表：鮎川潤著より 到達目標：離婚について親・子それぞれの立場から考える。 教科書(1)第3章、配付資料	對馬
8	5/7 (火)	家族の問題と課題	ケアの問題、ワークライフバランス、家・墓の継承問題 到達目標：家族の問題・課題のまとめ、未来のかたちを考える。 教科書(1)第5章、配付資料	對馬
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望 ①現代社会における家族、愛着問題と親子関係、子どもを育てる場としての家族のあり方を考える場としたい。 ②課題について討論、報告する為に指定する資料を読み準備しておくこと。予習1時間。 ③レポート提出(1回)、レポートは返却する。復習は、配布資料の見直し、新聞など30分以上の授業外学習を行う。 ④不明な点は、いつでも質問し、忌憚のない意見交換の場となることを期待する。				
オフィスアワー：質問は授業中、授業終了後、およびメールにて受け付ける。アドレス：sawatdi5@g01.itscom.net				
教科書： (1)我部山キヨ子・菅原ますみ編集：助産学講座4 基礎助産学〔4〕母子の心理・社会学：医学書院、2023。 (2)伊藤真：日本国憲法、角川春樹事務所、2013。				
参考書： (1) 鮎川 潤：幸福な離婚—家庭裁判所の調停現場から：中央公論社（中公新書ラクレ799）、2023。 (2) 井上正信：赤ちゃんは発達の土台を生まれて3ヶ月で育む：文芸社、2021。 (3) 岡田尊司：愛着障害—子ども時代を引きずる人々：光文社、2020（2011）。 (4) 岡田尊司：回避性愛着障害—絆が希薄な人々：光文社、2020（2013）。 (5) 岸見一郎：子どもをのばすアドラーの言葉—子育ての勇氣：幻冬舎、2016。 (6) 佐々木正美：子どもの心はどうそだつのか：ポプラ社、2019。 (7) 佐々木正美：はじまりは愛着から—人を信じ、自分を信じる子どもに：福音館書店、2020（2017）。 (8) 高橋和巳：「母と子」という病：筑摩書房（ちくま新書1226）、2016。 (9) 高橋孝雄：小児科医のぼくが伝えたい最高の子育て：マガジンハウス、2019（2018）。 (10) 高橋孝雄：子どものチカラを信じましょう：マガジンハウス、2020。 (11) 塚本智宏：コルチャック子どもの権利の尊重—子どもはすでに人間である：子どもの未来社、2004。 (12) 永井 隆：長崎の鐘：アルバ文庫（サンパウロ）、2000（1995）。 (13) 非配偶者間人工授精で生まれた人の自助グループ・長沖暁子：AIDで生まれるということ 精子提供で生まれた子どもたちの声：萬書房、2014。 (14) ベアテ・シロタ・ゴードン著・平岡磨起子構成・文：1945年のクリスマス—日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝：朝日文庫、2016。 (15) 本多真隆：「家庭」の誕生—理想と現実の歴史を追う：筑摩書房（ちくま新書1760）、2023。 (16) ヤヌシュ・コルチャック著・サンドラ・ジョウゼフ編著・津崎哲雄訳：コルチャック先生のいのちの言葉：明石書房、2003。				

授業科目の区分		基礎助産学					R6(2024)年度
授業科目名		コースナンバー	内 訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
母子栄養学		9107	講義	前期	選択	1／15	須田 幸子 竹下 美穂
概 要：母子を取り巻く社会情勢を理解し、女性のライフステージ、およびマタニティサイクルにおける栄養について理解し各期の食生活と乳幼児の食育も含めた具体的な知識と指導技術を学ぶ。							
目 的：母子の栄養についての知識を育み専門職として活躍する力を身につける。							
到達目標：1. 妊娠による母体の変化と胎児の成長に伴う栄養、食生活の留意点を理解する。 2. 妊産婦、乳幼児の栄養と食生活を理解する。 3. 日本人の食事摂取基準を理解する。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1) (2) (3)							
成績評価方法：レポート（80%）、学習態度（20%）							
成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、課題レポート、学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日(曜)	授業項目		内 容			担当者
1	4/11（木）	食事と栄養について（1）		わが国の栄養・食生活の現状、食生活を取り巻く諸問題を考える。日本人の食事摂取基準、食生活指針等			須田
2	4/18（木）	食事と栄養について（2）		栄養に関する基礎を学ぶ。 ①栄養素とその働き ②代謝			須田
3	4/25（木）	食事と栄養について（3）		栄養アセスメントについて学ぶ。 ①栄養評価 ②栄養指導 ③エネルギー不足			須田
4	5/9（木）	妊娠期・授乳期の栄養		妊娠期・授乳期に必要な栄養と、栄養アセスメントについて学ぶ。			竹下
5	5/16（木）	妊産婦の病態栄養		妊産婦の病態栄養と、栄養アセスメントについて学ぶ。 ①貧血 ②妊娠高血圧症候群 ③妊娠糖尿病			竹下
6	5/30（木）	乳児期・幼児期の栄養		乳児期・幼児期の栄養と、栄養アセスメント、母子に関する栄養行政について学ぶ。 ① 先天性代謝異常 ②体調不良 ③食物アレルギー			竹下
7	5/30（木）	思春期・更年期の栄養		思春期・更年期の栄養と、栄養アセスメントについて学ぶ。 ①成長期の貧血 ②摂食障害 ③更年期代謝障害			須田
8	6/6（木）	献立作成の実際		献立を作成する際のポイントについて学ぶ。			竹下
履修者へのコメント：							
(1)履修条件なし							
(2)履修にあたっての心構えと要望							
① 提出された課題については授業内外において返却・解説を行う。							
② 予習：授業前に教科書、配付資料を読むこと。							
③ 予習 30 分以上、復習 30 分以上の授業外学習を行うこと。							
(3)課題レポート：※ 講義開始時に詳細を提示する。							
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。							
教科書：							
(1) 我部山キヨ子編：助産学講座3 基礎助産学[3] 母子の健康科学、第6版（2023年改訂）、医学書院。							
(2) 香川明夫監修：八訂食品成分表、女子栄養大学出版部、2024。							
参考書：							
開講時提示							

授業科目の区分		基礎助産学					R6（2024）年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員	
健康教育	9108	講義	前期	選択	1／15	稲井 洋子	
概 要：ヘルスプロモーションの理念を基に健康教育の意義・展開のための理論と技法を学ぶ。 健康教育の理論を活用し、女性およびその家族を対象とした健康教育の展開方法を理解する。 また、集団指導の指導案の立案方法を学び模擬指導を行う。						北川 典子	
目 的：1. ヘルスプロモーションの理念、健康教育の意義・展開のための理論と技法を理解する。 2. 健康教育のための指導計画の立案方法、効果的な指導方法、評価方法を学ぶ。						岡部 史恵	
到達目標：1. 女性のライフステージに対応した健康教育の意義が説明できる。 2. 健康教育に用いられる理論を説明できる。 3. 健康教育を展開する上での様々な教育方法について説明できる。 4. 健康教育（集団指導）の企画・運営計画を作成できる。						高橋 紗耶香	
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1)							
成績評価方法： 運営（30%）、健康教育の実際（50%）、学習姿勢（20%） 成績評価基準： 本科目の到達目標に対する到達度とし、運営・健康教育の実際・学習姿勢を総合的に評価する。							
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者	
1	4/19（金）	健康教育の理念	1. 健康教育とは 2. 健康教育の理論 3. 健康教育における教育技術			稲井	
2	5/15（水）	健康教育の方法	1. 健康教育のための情報収集 2. 健康教育の展開方法 3. 健康教育の評価			稲井	
3	6/5（水）	健康教育の実際	1. 個人へのアプローチ 2. 集団へのアプローチ 3. 健康教育方法の実際			稲井	
4	6/12（水）	健康教育の企画 企画書作成①	1. 健康教育の企画書（指導案）等の作成 1) 健康教育の位置づけの把握 2) 健康教育の目的と目標の確認 3) 対象の把握と実施方法の検討 (1) 指導項目の検討と抽出 (2) 教育方法の検討 (3) 評価方法の確認 (4) 指導媒体の検討 (5) 指導案・媒体計画書の作成 4) 健康教育の周知方法について 【課題】①指定された健康教育の指導案の提出 ②指導案に基づいた媒体計画書の提出 ※WebClassの書式見本を参照 ※媒体を作成した場合は撮影しPDF原稿にする 【演習】			稲井・北川 岡部・高橋	
5	6/20（木）	健康教育の企画 企画書作成②				稲井・北川 岡部・高橋	
6	6/29（土）	健康教育の企画 企画書作成③				稲井・北川 岡部・高橋	
7	7/5（金）	健康教育の企画 企画書作成④				稲井・北川 岡部・高橋	
8	9/11（水）	健康教育の実際 ～模擬指導～	1. 健康教育の実際 2. 意見交換・評価			稲井・北川 岡部・高橋	

履修者へのコメント： (1)履修条件 特になし ＜注意＞単位が取得できなかった場合は、「健康教育実習」履修をすることはできません。 (2)履修にあたっての心構えと要望および課題 ①該当する部分のテキストを読み、予習して授業に臨んでください。(30分程度) ②指導内容（目標、内容抽出、指導方法の検討、評価方法の検討など）に重点を置いた授業としたいと思います。 学内発表では、実際に指導媒体を作成して演習します。発表に間に合うように準備して臨んで下さい。 ③授業に参加しただけでは単位を修得することはできません。
オフィスアワー： (1)講義：授業終了後に教室で質問を受け付けます。 (2)演習：授業時間外の質問は、担当教員研究室までお越しください。
教科書 (1)堀内成子、片岡弥恵子編：助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ 第6版、医学書院。
参考書 (1) 日本助産師会保健指導部会委員会編：助産師による思春期の健康教育、日本助産師会出版、2020. (2) 奥原剛：実践 行動変容のためのヘルスコミュニケーション—人を動かす10原則、大修館書店、2021. (3) 村山洋史、江口泰正、福田洋：ナッジ×ヘルスリテラシー—ヘルスプロモーションの新たな潮流、大修館書店、2022. (4) 成瀬勝彦：妊産婦の保健指導トラの巻 助産師の指導・説明に役立つ回答・アドバイス集(ペリネイタルケア夏季増刊)、メディカ出版、2020年 (5) 水越真代、清水美代子、岡田賀子、佐藤知子：健康教室づくりの極意、三恵社、2021

1 授業科目の区分		基礎助産学					R6 (2024) 年度
授業科目名		コースナンバー	内 訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担 当 教 員
母子看護学研究Ⅰ		9109	講義	通年	必修	1／15	稲 井 洋 子
概 要：看護研究はケアの質の向上と新たな知見の体系化および看護の専門性の確立のために必要な領域である。母子看護学研究Ⅰでは、研究の目的・方法・手順を概観する。また、文献検索や論文の書き方、研究成果を発表する際のプレゼンテーションについて学ぶ。							
目 的：研究を行うための基礎的な知識・技術・態度を修得する。							
到達目標：１．研究の意義と倫理的配慮について説明できる。 ２．研究過程と研究の概要を説明できる。 ３．論文の構成要素と具体的な書き方がわかる。 ４．助産学に関連する学会に参加し知見を広げることができる。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 ／(1)(2)(3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 ／(3) DP4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力 ／(1)(2)							
成績評価方法：１．課題レポート（80％） ２．学習態度（20％） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、課題レポート・学習態度を総合的に評価する。							
回	月／日	授業項目	内 容				担当者
1	4/15（月）	研究における法規範と倫理	1. 研究とは看護研究とは何か 2. 看護における研究の意義 3. 看護研究を行う際の倫理的配慮について 1) 医療分野における倫理規制 2) 看護研究における倫理的配慮 教科書(1)、配付資料				稲井
2	5/8（水）	助産学研究の探求 研究過程の概要 研究の方法	1. 研究過程の概要 2. 研究方法について 1) 研究テーマの探索方法 2) 先行研究 3) 研究の枠組み 4) 研究デザインと分析方法 5) 研究計画書の作成 教科書(1)、配付資料				稲井
3	6/19（水）	助産学研究の実際 論文の構成要素 プレゼンテーション	1. 論文の主な構成要素 2. 論文作成にあたってのポイント 3. プレゼンテーションの意義、方法、評価 教科書 配付資料				稲井
4	6/24（月）	助産学研究の実際 文献検討	1. 文献検討（クリティーク）の視点と目的 教科書 配付資料 2. クリティークの方法 原著論文１編をクリティークする 【演習／課題１】				稲井
5	7/20 （土）	研究発表の実際と運営	1. 研究の発表の実際 1) 研究発表の見学 2) 学会の運営の観察 3) 意見交換と課題の明確化 【演習／課題２】				稲井
6							
7							
8							

履修者へのコメント：

(1)履修条件なし

(2)履修にあたっての心構えと要望

①看護学生時代の文献や資料、該当する部分の教科書部分を読み、予習して授業に臨んでください。(30分程度)

②次回授業に向けて参考文献等を活用し復習をして、授業に臨んでください。(30分程度)

(3)【課題1】各自で関心のある原著論文を用いてクリティークして下さい。

①指定された学会誌から関心のある原著論文を1編コピーしておく。

②授業で配布するクリティーク用紙〔簡易〕にクリティークする。

③クリティーク用紙、使用した原著論文1編(左上1箇所をまとめてホチキス止めする)

提出期限：2024年 月 日 () 8:50 短大4階 Mail Box〔講義時に周知〕

(4)【課題2】授業の一環として学会や研究発表会へ参加し、課題レポートを作成します。

①趣旨；助産に関する学会等に参加し研究発表の実際に触れ学びを深める。

②内容；学会の詳細なプログラムが発表され次第、別紙で連絡します。

課題；別途配布 感染症の状況等により参加方法を Web参加 と変更する場合があります。

提出期限：2024年 月 日 () 8:50 WebClass へ提出〔講義時に周知〕

《参考》「母子看護学研究Ⅱ」(選択科目)を履修する学生は、論文を作成・発表する際の参考としてください。

オフィスアワー：

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

教科書：

(1)我部山キヨ子、安達久美子編：助産学講座1 基礎助産学〔1〕 助産学概論 第6版(2022年改訂)、医学書院.

*必要時に別途指定する

参考図書：

(1)山崎茂明著：文献検索ガイド、第4版Ⅷ〔増補版〕、日本看護協会出版会、2010.

(2)桂敏樹、星野明子編：かんたん看護研究 改訂第2版、南江堂、2020.

(3)山本あい子編：助産師基礎教育テキスト 2024年版 第1巻、助産概論/母子保健 第1版、日本看護協会出版会.

授業科目の区分		基礎助産学					R6（2024）年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担 当 教 員	
母子看護学研究Ⅱ	9110	演習	通年	選択	2／60	稲井 洋子	
概 要：母子看護学研究Ⅰの基礎的知識をもとに、助産学実習で実践したケアを振り返り、看護・助産の質の向上と専門性を文献的に検証する過程を学ぶ。論文の作成過程を通じて研究的姿勢を学び、自己の研究課題を明らかにする。							
目 的：文献を用いて実践したケアを検証し、論文にまとめる過程を取得できる。							
到達目標：１.助産学実習で関わったケースを研究的にまとめ、論文を作成できる。 ２.助産学の発展に貢献する専門職として、研究的姿勢を身につけることができる。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 ／(1)(2)(3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 ／(3) DP4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力 ／(1)(2)							
成績評価方法： 研究論文(70%)、学習態度(30%)							
成績評価基準： 本科目の到達目標に対する到達度とし、研究論文・学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日	授業項目	内 容			担当者	
1	5/16（木）	オリエンテーション	母子看護学研究Ⅱの具体的な方法について			稲井	
2	/	事例の選定	周産期にあるケースの選定 (実習要綱を参照)			稲井	
3	/	研究計画書の作成	1. 先行研究の収集と現状の確認 2. 研究計画書（事例研究）の作成 (9～11月)			稲井	
4	/						
5	/						
6	/						
7	/	研究計画書の提出と修正	1. 研究計画書（事例研究）の作成 2. 研究計画書（事例研究）の修正・再提出 (9～11月)			稲井	
8	/						
9	/						
10	/						
11	/	研究指導(1)	1. 担当教員からの指導 2. 論文作成 (10月～1月)			稲井	
12	/						
13	/						
14	/						
15	/	研究指導(2)	1. 論文の作成と抄録作成および修正 2. 発表原稿の作成 (11月～1月)			稲井	
16	/						
17	/						
18	/						
19	/	研究指導(3)	1. 論文の作成と抄録作成および修正 2. 発表原稿の作成 (11月～1月)			稲井	
20	/						
21	/						
22	/						
23	/	研究指導(4)	1. 論文の作成と抄録作成および修正 2. 発表原稿の作成 (11月～1月)			稲井	
24	/						
25	/						
26	/						

27	/	研究指導(5)	1. 論文の作成と抄録作成および修正	(11月～1月)	稲井
28	/		2. 発表原稿の作成		
29	/		3. 研究の評価		
30	/				
履修者へのコメント：					
(1)履修条件					
①本科目を履修する場合は「母子看護学研究Ⅰ」を履修登録すること。					
②「母子看護学研究Ⅰ」の単位が取得できなかった場合は、履修を継続することはできません。 次年度以降の履修となります。					
(2)履修にあたっての心構えと要望					
①母子看護学研究Ⅰの授業内容を復習して臨んでください。					
②助産学実習と並行する科目であるため、履修者はスケジュール管理を綿密に行ってください。 特に論文作成を行う12月下旬～1月は助産学実習の記録提出時期と重なるため、計画的に学習を進めて下さい。					
③事例研究を行うにあたり、埼玉医科大学研究倫理委員会へ「埼玉医科大学短期大学研究倫理審査申請書」を提出し 審査を受けます。「条件付き承認」、「再審査」となった場合は、担当教員よりアドバイスを受け、申請書類を修正 し再度審査を受ける必要があります。また、「不承認」となった場合は、研究をすることはできません。					
④必ずアポイントを取り、論文指導を受けて下さい。					
⑤計画途中で変更が生じた場合は速やかに担当教員と稲井まで申し出て、研究計画書の変更もしくは研究を中止して ください。					
(3)論文規定 ＊詳細は別途提示します。					
①原稿枚数；抄録1枚、本文9枚					
②本文フォーマット；Wordソフトで作成(手書き原稿は受け付けない)、10.5ポイント、2段組/文字数18文字、40行 和文は明朝体で全角・英文字とアラビア数字はTimes New Roman					
オフィスアワー：					
個別に質問したい場合は、アポイントをお取りください。					
受け持ち事例について、担当教員からの指導を受ける場合は、アポイントを取り指導時間を調整してください。					
研究発表終了後に発表論文・発表方法など、今後の研究に向けての解説をします。					
教科書：					
(1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座Ⅰ 基礎助産学(Ⅰ) 助産学概論 第6版(2022年改訂)、医学書院。					
(2) 三輪建二、わかりやすい省察的实践 実践・学び・研究をつなぐために、医学書院、2023。					
参考図書：					
(1) 山本あい子編：助産師基礎教育テキスト第1巻(2024年版)助産概論/母子保健 第1版、日本看護協会出版会。					
(2) 南裕子編：看護における研究、第2版、日本看護協会出版会、2017。					
(3) 桂敏樹、星野明子編：かんたん看護研究 改訂第2版、南江堂、2020。					

授業科目の区分		助産診断・技術学				R6 (2024) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担 当 教 員
周産期の健康科学	9201	講義	前期	必修	1／30	梶原 健 山口 哲 吉田 智昭 齋藤 良平 霞澤 亘 川嶋 直之 照井 克生 相馬 廣明 高村 将司
概 要：助産診断の基礎となる周産期の女性の解剖・生理のメカニズムについて学ぶ。 さらに周産期の異常の早期発見と治療について学ぶ。						
目 的：妊娠・分娩・産褥の経過と胎児の成長・発達について学び、ローリスクからハイリスクに移行しやすい対象や医療介入の必要な対象について助産診断を行う基礎的な知識を習得する。						
到達目標：1. 女性生殖器の妊娠期・分娩期・産褥期の形態的变化や機能を説明できる。 2. 妊娠・分娩・産褥の経過と胎児の成長・発達を説明できる。 3. 周産期に医療介入を要する疾患や治療について説明できる。 3. 会陰切開、裂傷に伴う縫合について模型を用いて実施できる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1) (2)						
成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（90％） 2. 学習態度(10%)						
成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度を総合的に評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/8 (月)	妊娠経過に伴う診断	1. 妊娠の成立の確定診断、妊娠時期及び分娩予定日の診断、妊娠に伴う母体の生理的变化と健康状態の診断 マイナートラブルの発生時期・機序			山口
2	4/8 (月)		2. 胎児の成長・発達の診断（胎芽期から胎児期の身体的成長）、胎児の身体的機能の発達、胎児の健康状態のアセスメント 教科書(1) (4)、配付資料			山口
3	4/17 (水)	医療介入を要する妊婦のケア 1) 胎児発育の異常 2) 妊娠持続期間の逸脱 3) 胎児付属物の異常	発育不全、多胎、前置・低置胎盤、異所性妊娠 羊水過多・羊水過少、胎位異常、切迫流早産、流産、早産、予定日超過、過期妊娠、頸管無力症、絨毛膜羊膜炎 教科書(1) (4)、配付資料			吉田
4	4/17 (水)	4) 妊娠に伴う身体的異常 5) 合併症妊娠と産科合併症	妊娠貧血、妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病 糖尿病、心疾患、腎・泌尿器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、甲状腺疾患、子宮筋腫 教科書(1) (4)、配付資料			吉田
5	4/24 (水)	分娩進行に伴う診断	1. 分娩の準備 分娩の近づいた徴候、子宮頸管成熟度の判定 2. 分娩の経過 分娩の時期(分娩開始、陣痛周期、分娩各期の診断)、分娩所要時間、破水の種類と診断、内診と外診 分娩3要素 ①産道/骨産道、子宮頸管の開大の開大 ②娩出力/陣痛と腹圧、陣痛周期と陣痛持続時間、陣痛の強さの判定基準、子宮収縮の領域分化と伝わり方 ③胎児/分娩機転-児頭回旋、児頭の固定・進入 胎盤の剥離徴候と胎盤の娩出			齋藤
6	4/24 (水)		3. 分娩予測の診断 内診(DeLeeのStation)、骨盤区分と児頭最大周囲径の位置表現、バルトグラムの評価、分娩の予測時間の診断と遅延因子・促進因子、経膈分娩可否の診断 4. 分娩進行に伴う産婦の健康状態の判断 体温、呼吸、循環器系、血液、泌尿器系、代謝 他 ＊モニタリングは「母子の健康科学」で講義 教科書(2) (4)、配付資料			齋藤

7	5/1 (水)	医療介入を要する産婦のケア (1)	1. 分娩経過の異常時のケアと治療方針 ①産道／児頭骨盤不適合・峽骨盤(X線計測と適応)、子宮頸管拡張(ラミナリア、メトロイリーゼ、人工破膜)、他 ②娩出力／陣痛の異常(微弱陣痛と過強陣痛)、子宮収縮薬の使用(陣痛誘発・陣痛促進)、分娩遷延・分娩停止、他 ③胎児／前期破水・早期破水、胎位・胎勢(回旋)の異常、児頭進入異常、肩甲難産、胎児機能不全、胎児付属物の異常(臍帯下垂・脱出、癒着胎盤、羊水量の異常(羊水過多・過少)前期破水、子宮内胎児死亡(IUFD)他 教科書(2)(4)、配付資料	吉田
8	5/14 (火)	医療介入を要する産婦のケア (2)	2. 分娩中・分娩直後の状態の異常 異常出血、産科危機的出血の処置(子宮腔内バルーン留置・タンポナーデ、輸液・輸血)、膣および外陰の血腫・産道裂傷(膣壁血腫、頸管裂傷)の処置、常位胎盤早期剥離(産科DIC)、子癇、緊急・搬送時及び産科的医療処置、帝王切開術(緊急を含む)の適応、吸引分娩・鉗子分娩 教科書(2)(4)、配付資料	霞澤
9	5/8 (水)	医療介入を要する産婦のケア (3)	3. その他の異常 子宮破裂、子宮内反症、子宮内容除去術 多胎分娩、骨盤位分娩、GBS陽性 羊水塞栓症、肺塞栓症、肺血栓塞栓症 外回転術・内回転術、クリステレル胎児圧出法 教科書(2)(4)、配付資料	川嶋
10	5/23 (木)	分娩時の麻酔管理と助産ケア	1. 分娩経過と産科麻酔 産痛の神経支配(分娩時痛の伝達経路) 硬膜外麻酔、脊髄くも膜下・硬膜外麻酔併用法、会陰神経ブロック	照井
11	5/23 (木)		2. 帝王切開における麻酔 脊髄くも膜下麻酔 3. 硬膜外無痛分娩のメリット・デメリット 麻酔分娩のメカニズム・母子への影響、局所麻酔 教科書(2)(3)、配付資料	照井
12	6/24 (月)	産道裂傷と縫合技術	会陰の切開・裂傷に伴う縫合技術 【実技演習】 教科書(2)、配付資料	山口 霞澤
13	6/24 (月)	胎盤の生理	胎盤のみかた 教科書(1)、配付資料	相馬
14	5/27 (月)	産褥経過に伴う診断	産褥期の生理的变化、退行性変化、進行性変化 マイナートラブル 産科手術を受けた褥婦の全身の復古と退行性変化 帝王切開後の産褥管理 教科書(2)(4)、配付資料	高村
15	5/27 (月)	医療介入を要する褥婦のケア	退行性変化からの逸脱(子宮復古不全、恥骨結合離開、膣壁裂傷、頸管裂傷、深部静脈血栓症、産道損傷、尿失禁)、産褥期に用いる薬剤 心疾患・腎疾患・甲状腺疾患・子宮筋腫、糖尿病合併、産後の血糖管理、乳腺炎、合併症褥婦、乳腺炎 教科書(2)(4)、配付資料	高村
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望 ①概要に該当する部分を予習(30分以上)して授業に臨んでください。 ②授業後は授業内容を復習(30分以上)してください。				

オフィスアワー：

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

教科書：

- (1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期、第6版、医学書院。
- (2) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期、第6版、医学書院。
- (3) 川添太郎、木下勝之監修、照井克生著：硬膜外無痛分娩 安全に行うために、改訂3版、南山堂、2015。
- (4) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol. 10 産科 第4版、メディックメディア、2018。

参考書：

- (1) 吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト 第2巻 (2024年版) ウイメンズヘルスケア、第1版、日本看護協会出版会。
- (2) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第4巻 (2024年版) 妊娠期の診断とケア、第1版、日本看護協会出版会。
- (3) 町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト 第5巻 (2024年版) 分娩期の診断とケア、第1版、日本看護協会出版会。
- (4) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト 第6巻 (2024年版) 産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア、第1版、日本看護協会出版会。
- (5) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第7巻 (2024年版) ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、日本看護協会出版会。
- (6) 医療情報科学研究所編：病気がみえる vol. 9 婦人科・乳腺外科 第4版、メディックメディア、2018。
- (7) 荒木勤：最新産科学(正常編)、第22版 文光堂、2008。
- (8) 荒木勤：最新産科学(異常編)、第22版 文光堂、2012。

授業科目名の区分		助産診断・技術学				R6 (2024) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
妊娠期の 助産診断・技術学	9202	演習	前期	必修	2/45	北川 典子
概 要： 妊娠期の対象の特性・生理的特性を理解し、対象者自身がセルフケアできるよう母子やその家族への支援について学習する。また、助産師の専門的な基礎助産技術(診断技術、援助指導技術)を理解する。						稲井 洋子
目 的： 妊娠期の母子とその家族を統合的に捉え、助産過程の展開に必要な知識・技術・態度を養う。						岡部 史恵
到達目標： 1. 妊娠期の母子における生理的・身体的変化について理解できる。 2. 妊婦を取り巻く環境を理解し、対象の心理・社会的変化について理解できる。 3. 基本となる診断・診察技術を正確度の高い技術にすることができる。 4. 事例をもとに助産過程(診断過程、実践過程)を展開し、対象と家族へのケアを具体的に述べることができる。 5. 対象に合わせた個別指導計画をもとに実施することができる。 6. ローリスク妊婦や医療介入を要する妊婦の助産ケアについて説明できる。						高橋 紗耶香
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1) (2) (3)						<非常勤教員>
成績評価方法： 1. 定期試験（筆記試験）（70％） 2. 演習（20％） 3. 学習態度（10％）						
成績評価基準： 本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）、演習、学習態度を総合的に評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/5 (金)	妊娠期のフィジカルアセスメント(1)	妊娠期の助産診断・アセスメントの特徴 妊婦健康診査、母子健康手帳の活用方法 教科書(1)(2)(5)(6)			北川
2	4/9 (火)	妊娠期のフィジカルアセスメント(2)	妊娠期の助産診断・アセスメントとケアの視点 妊娠経過とマイナートラブル 教科書(1)(2)			北川
3	4/10 (水)	妊娠期のフィジカルアセスメント(3)	妊娠初期の診断・アセスメントとケアのポイント 教科書(1)(2)			北川
4	4/12 (金)	妊娠期のフィジカルアセスメント(4)	妊娠中期の診断・アセスメントとケアのポイント 教科書(1)(2)			北川
5	4/12 (金)	妊娠期のフィジカルアセスメント(5)	妊娠末期の診断・アセスメントとケアのポイント 教科書(1)(2)			北川
6	4/9 (火)	妊婦への心理社会的支援	妊婦への支援の展開（保健指導計画） 教科書(1)(2) 【課題①グループ学習】			北川
7	4/10 (水)	妊娠期の助産過程 (1)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 正常に経過する妊婦の助産過程の展開の整理 記録の整理と PP 学習のオリエンテーション 演習 PP 【課題②】教科書(3) (4)			北川 岡部・高橋
8	4/11 (木)	妊娠期の助産過程 (2)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 診断過程の展開(1) 妊娠経過の情報収集 分析 診断 教科書(3) (4) 【課題②/グループ学習】 演習 PP			北川 岡部・高橋
9	4/12 (金)	妊娠期の助産過程 (3)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 診断過程の展開(2) 健康生活の情報収集 分析 診断 教科書(3) (4) 【課題②/グループ学習】 演習 PP			北川 岡部・高橋
10	4/17 (水)	妊娠期の助産過程 (4)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 実践過程の展開(1) 計画の立案 教科書(3) (4) 【課題③/グループ学習】 演習 PP			北川 岡部・高橋
11	4/18 (木)	妊娠期の助産過程 (5)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 実践過程の展開(2) 計画の立案 教科書(3) (4) 【課題③/グループ学習】 演習 PP			北川 岡部・高橋

12	4/18 (木)	妊娠期の助産過程 (6)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 実践過程の展開 (3) 個別保健指導計画案の作成① 教材、媒体の工夫 教科書 (3) (4) 【課題④／グループ学習】 演習 PP	北川 岡部・高橋
13	4/19 (金)	妊娠期の助産過程 (7)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 実践過程の展開 (4) 個別保健指導計画案の作成② 教材、媒体の工夫・作成 教科書 (3) (4) 【課題④／グループ学習】 演習 PP	北川 岡部・高橋
14	4/19 (金)	妊娠期の助産過程 (8)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 実践過程の展開 (5) 個別保健指導計画案の作成③ 教材、媒体の工夫・作成 教科書 (3) (4) 【課題④／グループ学習】 演習 PP	北川 岡部・高橋
15	4/19 (金)	妊娠期の助産過程 (9)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 実践過程の展開 (5) 《発表資料の作成》 教科書 (3) (4) 【課題④／グループ学習】 演習 PP	北川 岡部・高橋
16	4/25 (木)	妊娠期の助産過程 (10)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 《発表資料の作成・提出》 演習 PP 教科書 (3) (4) 【課題④／グループ学習】	北川 岡部・高橋
17	5/1 (水)	妊娠期の助産過程 (11)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 【発表】 ～事例の異なるグループに分かれて意見交換～ 1) 事例紹介 2) 妊娠経過の説明 3) 診断産過程 (分析・診断・統合) の説明 4) 実践過程 (目標・計画・保健指導案・媒体の説明) 5) 意見交換・評価 演習 PP	北川・稲井 岡部・高橋 非常勤教員
18		妊娠期の助産過程 (12)		
19	5/7 (火)	妊娠期の助産過程 (13)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 【まとめ・課題の明確化】 1) 事例毎に発表で意見交換された内容について グループで検討 【課題⑤／グループ学習】 2) 最終的な提出記録をクラスフォルダへ提出 3) 様々な事例の助産過程展開をもとに、実習課題 を明確にする。 4) 実施と評価、妊娠期サマリー	北川
20 21	4/15 (月)	基礎助産技術 (1) (2)	妊婦健康診査に必要な助産技術の実践 胎児心音聴取、分娩監視装置、内診、クスコ診 演習 教科書(5)(6)	岡部・高橋 北川・稲井 非常勤教員
22 23	4/22 (月)	基礎助産技術 (3) (4)	妊婦健康診査に必要な助産技術の実践 妊娠末期の妊婦健康診査 演習 教科書(5)(6)	北川・稲井 岡部・高橋 非常勤教員

履修者へのコメント：

(1) 履修条件：

- ①4月15日・22日の技術演習には、本学専攻科の『学習マニュアル』にあるチェックリストを参照し、演習前の自己学習として「レオポルド触診法」「腹囲・子宮底の測定」「胎児心音聴取」について各自実施した上で臨んでください。
- ②＜注意＞成績評価は、総合評価になります。しかし、定期試験100点満点において60点に達していない場合は、再試験の対象となります。単位取得できなかった場合は、前期・後期実習の「周産期援助実習」「分娩期援助実習」を履修することはできません。

(2) 履修にあたっての心構えと要望

- ①履修にあたり妊娠経過に伴う身体的変化、心理・社会的変化 (初期・中期・末期) について復習をそれぞれ30分以上して臨んで下さい。
- ②初回の授業で母子健康手帳を配付します。熟読し、活用できるようにして下さい。
- ③ペーパーペイシェント学習 (*以降、「演習 PP」とする) は、『学習マニュアル』を活用して進めます。具体的な進め方や発表について十分熟読し、個人学習・グループ学習に積極的に臨んで下さい。【課題①】【課題②】【課題③】【課題④】【課題⑤】は、講義内にフィードバックを行います。
- ④20～23回の演習では、妊婦健康診査の場面の中で正確な助産技術を行い、助産診断できるよう臨んで下さい。

オフィスアワー：質問は、講義時間内もしくは講義終了後に来て下さい。（平日 8：30～17：30）

教科書：

- (1) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座 6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期、第 6 版、医学書院
- (2) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第 4 巻(2024 年版)妊娠期の診断とケア、第 1 版、日本看護協会出版会。
- (3) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断、第 5 版、医学書院、2021.
- (4) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック、第 6 版、医学書院、2020.
- (5) 平澤美恵子、村上睦子：新訂版写真でわかる助産技術アドバンス、初版、インターメディカ、2021.
- (6) 我部山キヨ子、大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション、第 2 版、医学書院、2018.

参考書：

- (1) 堀内成子、片岡弥恵子編：助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ、第 6 版、医学書院
- (2) 我部山キヨ子、安達久美子編：助産学講座 1 基礎助産学[1]助産学概論、第 6 版、医学書院
- (3) 我部山キヨ子、菅原ますみ編：助産学講座 4 基礎助産学[4]母子の心理・社会学、第 6 版(2023 年改訂)、医学書院
- (4) 吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト 第 2 巻(2024 年版)ウイメンズヘルスケア、第 1 版、日本看護協会出版会。
- (5) 進純郎・高木愛子著：ブラッシュアップ助産学 助産外来の健診技術、医学書院、2010.
- (6) 藤井知行編：週数別妊婦健診マニュアル 第 2 版、医学書院、2021.
- (7) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2020、日本産婦人科学会事務局、2020.

授業科目名の区分		助産診断・技術学				R6 (2024) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位/時間	担当教員
分娩期の 助産診断・技術学	9203	演習	前期	必修	3/60	稲井 洋子
概 要：分娩期にある対象の心理的・身体的・社会的側面の理解を深め経時的なケアの方法を学ぶ。						北川 典子
目 的：妊娠経過をふまえ、分娩期にある対象の助産過程を経時的に展開できるよう知識・技術・態度を養う。						岡部 史恵
到達目標： 1. 分娩期のフィジカルアセスメントの視点を理解し、分娩の正常な経過と正常からの逸脱時の助産過程を展開できる。 2. 分娩介助技術の原理を理解し、正常経過にある産婦の分娩介助を実施できる。 3. 事例をもとにハイリスク・異常分娩時の助産ケアを実施できる。						高橋 紗耶香
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1) (2) (3)						<非常勤教員>
成績評価方法：1. 定期試験〔筆記試験〕(50%) 2. 演習・技術試験(40)% 3. 学習態度 (10%) 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験・実技試験・学習態度を総合的に評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/24 (水)	分娩期のフィジカルアセスメント(1)	分析・診断の視点と助産過程の展開について 教科書(1)(2)、配付資料			稲井
2	4/24 (水)	分娩期のフィジカルアセスメント(2)	入院時の診断・アセスメントとケアの視点 分娩第1期のアセスメントとケアのポイント 教科書(1)(2)、配付資料			稲井
3	5/7 (火)	分娩期のフィジカルアセスメント(3)	分娩第2期～分娩第3期の 診断・アセスメントとケアのポイント 分娩後2時間までのアセスメントとケアのポイント 教科書(1)(2)、配付資料			稲井
4	4/26 (金)	分娩期の助産過程(1)	ペーパー・ベシエントによる事例の展開 ～助産過程学習のオリエンテーション～ 正常に経過する産婦の助産過程の展開 教科書(3)(4)(5)【課題①/個人学習】演習PP			稲井 岡部・高橋
5	5/9 (木)	分娩期の助産過程(2)	ペーパー・ベシエントによる事例の展開 正常を逸脱した産婦の助産過程の展開 〔助産類型毎の分析の検討(1)〕 教科書(3)(4)(5)【課題②/グループ学習】演習PP			稲井 岡部・高橋
6	5/13 (月)	分娩期の助産過程(3)	ペーパー・ベシエントによる事例の展開 〔助産類型毎の分析の検討(2)〕 教科書(3)(4)(5)【課題②/グループ学習】演習PP			稲井 岡部・高橋
7	5/14 (火)	分娩期の助産過程(4)	ペーパー・ベシエントによる事例の展開 分析と診断の統合とケアの方向性および今後の予測(1) 教科書(3)(4)(5)【課題②/グループ学習】			稲井 岡部・高橋
8	5/15 (水)	分娩期の助産過程(5)	ペーパー・ベシエントによる事例の展開 分析と診断の統合とケアの方向性および今後の予測(2) 教科書(3)(4)(5)【課題②/グループ学習】演習PP			稲井 岡部・高橋
9	5/22 (水)	分娩期の助産過程(6)	ペーパー・ベシエントによる事例の展開 実践過程の展開(1) 教科書(3)(4)(5)【課題②/グループ学習】演習PP			稲井 岡部・高橋
10	5/29 (水)	分娩期の助産過程(7)	ペーパー・ベシエントによる事例の展開 実践過程の展開(2) 教科書(3)(4)(5)【課題②/グループ学習】演習PP			稲井 岡部・高橋

11	6/4 (火)	分娩期の助産過程(8)	ペーパー・ペーシエントによる事例の展開 発表資料の整理 PowerPoint原稿の作成 教科書(3)(4)(5) 【課題②／グループ学習】 《発表資料の作成・提出》 演習PP	稲井 岡部・高橋
12	6/6 (木)	分娩期の助産過程(9)	ペーパー・ペーシエントによる事例の展開 【発表】 ～事例の異なる小グループに分かれて意見交換～ 1) 事例紹介 2) パルトグラム等を用いて分娩経過の説明 3) 診断産過程(分析・診断・統合)の説明 4) 実践過程(目標・計画)の修正ポイント説明 5) 意見交換・評価 演習PP	稲井・北川 岡部・高橋 非常勤教員
13	6/6 (木)	分娩期の助産過程(10)		
14	6/6 (木)	分娩期の助産過程(11)	ペーパー・ペーシエントによる事例の展開 【まとめ・課題の明確化】 1) 事例毎に発表で意見交換された内容について グループで検討 2) 様々な事例の助産過程展開をもとに、実習課題を明確にする 3) 最終的な提出記録をクラスフォルダへ提出 《課題②／グループ学習資料の提出》 演習PP	稲井
15	4/26 (金)	分娩介助技術 (1)	1) 分娩介助法の意義・原理について ①分娩室の準備、②必要物品の準備、③産婦の準備 ④介助者の準備 2) 正常分娩介助法の原理(分娩体位による利点と欠点) ①仰臥位分娩、②側臥位分娩、③四つん這い分娩、 ⑤座位・蹲踞位 教科書(1)(2)(3)(8)、「分娩介助手順」講義	稲井
16	5/1 (水)	分娩介助技術 (2)	3) 分娩の準備から分娩終了までの技術 ①器具・器材の配置、②手指消毒、③外陰部洗浄、 ④努責の誘導、⑤肛門・会陰保護、⑥児頭・体幹の娩出、 ⑦胎盤娩出、⑧分娩後の産道精査 ⑨その他：ルーチン業務の見直しについて 等 教科書(1)(2)(3)(7)(8)、「分娩介助手順」講義	稲井
17 18	5/9 (木)	分娩介助技術 (3)	分娩介助の実際(生体モデルによる) ～側面介助～[教員によるデモンストレーション] 教科書「分娩介助手順」演習	稲井・北川 岡部・高橋
19 20	5/27 (月)	分娩介助技術 I [場面設定による演習と 意見交換]	分娩介助の実際(生体モデルによる) ～入院時の対応、分娩室入室・分娩介助まで～ 場面①：電話による入院の判断、入院時の対応 教科書(1)(2)(3)(8)、「分娩介助手順」演習	稲井・北川 岡部・高橋 非常勤教員
21 22	6/3 (月)		場面②：産痛緩和と分娩室入室時の対応 教科書(1)(2)(3)(8)、「分娩介助手順」演習	
23 24	6/17 (月)		場面③：分娩介助／ローリスク分娩 教科書(1)(2)(3)(6)(7)(8)、「分娩介助手順」演習	
25 26	6/27 (木)		場面④：分娩介助／ハイリスク・異常分娩 教科書(1)(2)(3)(6)(7)(8)、「分娩介助手順」演習	
27 28 29 30	7/16 (火)	分娩介助技術 II [技術試験]	ローリスク産婦の分娩介助技術試験(生体モデルによる) ～分娩介助手順「人工破膜から軟産道損傷・頸管裂傷の 確認」まで～ *ローリスク分娩 『学習マニュアル』：「技術試験」参照	稲井・北川 岡部・高橋 非常勤教員

履修者へのコメント： (1) 履修条件 特になし ＜注意＞単位が取得できなかった場合は、「周産期援助実習」「分娩期援助実習」を履修することはできません。 (2) 本学専攻科の学習マニュアルを参照し、演習前の学習と技術確認テストの「ガウンテクニック」のチェックを受け臨んでください。詳細は別途、掲示します。 ※感染症などの状況により、実施されない場合は、各自復習をして実習に臨んでください。 (3) 履修にあたっての心構えと要望 【講義】 履修にあたり分娩の生理、心理に関連する科目の予習と復習をして臨んでください。(30分程度) 【ペーパーペイシェント学習】 『学習マニュアル』を熟読し個人学習・グループ学習に臨んで下さい。 【課題①】5月9日(木)のグループ学習開始までに指定された記録用紙を稲井まで提出してください。 【課題②】フィードバックは、各回の授業時に行います。別途、課題提出について指示します。 【技術演習と技術試験】 ①分娩助産技術演習では本学で作成した「分娩助産手順」を配布します。テキストとあわせて熟読してください。 ②分娩助産技術は、教員のデモンストレーション授業後、放課後等に実習室の予約をして練習して下さい。 ③分娩助産技術Ⅰ 19-26回の演習では、場面設定をした分娩助産技術について実施します。 ※基礎的な技術については、各自で繰り返し練習をして臨んでください。 ※場面設定③と④では応用場面での学習として、ペーパーペイシェント学習した事例で演習を行います。 ④後期の助産学実習までに一連の流れを実施できるよう、放課後や夏休み期間を利用して直接助産5回以上、間接助産5回以上、産婦(児頭の回旋係)3回以上を目標に実施し自己課題を明確にして実習に臨んでください。 ⑤分娩助産技術Ⅰの場面設定による演習と意見交換は、講義と分娩助産演習「分娩助産の器具機材の配置から分娩終了の説明」を各自で十分に学習して望んでください。 演習当日の場面設定等については、別紙提示します。 ⑥分娩助産技術Ⅱの技術試験に合格しないと、「分娩期援助実習」で分娩助産を実施することはできません。 ⑦分娩助産技術試験は合格点に達しても、分娩助産にかかる重要な技術〔必須項目〕に課題がある場合は、再試験の対象となります。	オフィスアワー：講義時間以外の質問は、事前にアポイントをとって下さい。(平日8:30～17:30) ①講義・演習に関する内容：稲井 ②練習のための教室の確保等：演習担当教員
教科書： (1) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期、第6版、医学書院。 (2) 町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト 第5巻(2024年版) 分娩期の診断とケア 第1版、日本看護協会出版会。 (3) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2023、 日本産婦人科学会事務局、2023。 (4) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック 第6版、医学書院、2020。 (5) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断、第5版、医学書院、2021。 (6) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2024年版) ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、 日本看護協会出版会。 (7) 分娩期ケアガイドライン翻訳チーム：WHO推奨ポジティブな出産体験のための分娩期ケア 第1版、医学書院、2021。 (8) 平澤美恵子、村上睦子：新訂版写真でわかる助産技術アドバンス、初版、インターメディカ、2021。	参考書： (1) 厚生労働科学研究 妊娠出産ガイドライン研究班編：科学的根拠に基づく快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 2013年版、金原出版、2013。 (2) 北川 眞理子、内山 和美編：今日の助産、改訂第4版、南江堂、2019。 (3) 竹田省、高橋眞理編：CG動画で分かる！分娩のしくみと助産法、メジカルビュー、2016。 (4) 加部山キヨ子、大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション第2版、医学書院、2018。 (5) 竹田省監、福井トシ子編：臨床助産テキスト第2巻 分娩、メディカ出版、2016。 (6) 日本産科婦人科学会 編集・監修：産科婦人科用語集・用語解説集 改訂第4版、日本産科婦人科学会、2018。 (7) 望月礼子：産科エマージェンシー臨床推論～母体急変を見抜く～ 第1版、MCメディカ出版、2020。 (8) 日本助産学会編：妊娠出産される女性とご家族のためのガイドライン2024年度、2024。

授業科目名の区分		助産診断・技術学					R6(2024)年度
授業科目名		コースナンバー	内 訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
産褥期の 助産診断・技術学		9204	演習	前期	必修	2／45	北川 典子
概 要：産褥期にある対象の身体的・心理社会的側面の理解を深め、母子とその家族へのケアを学ぶ。							阿部 一子
目 的：妊娠・分娩の経過をふまえた母子とその家族への助産過程の展開を実践できるよう知識・技術・態度を養う。							稲井 洋子
到達目標： 1. 産褥期のフィジカルアセスメントの視点を理解し、助産過程を展開できる 2. 事例をもとに産褥期の母親とその家族へのケアを実施できる。 3. 正常から逸脱した褥婦の助産過程の展開ができる。 4. 助産診断のプロセスに沿って、安全・安楽な技術を実施できる。 5. 産後の母子や家族へ継続的支援をするための系統的・組織的活動を説明できる。							岡部 史恵
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1) (2) (3)							高橋 紗耶香
成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（70%） 2. 演習（20%） 3. 学習態度（10%） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）、演習、学習態度を総合的に評価する。							<非常勤教員>
回	月/日(曜)	授業項目		内 容		担当者	
1	5/8（水）	産褥期のフィジカルアセスメント(1)		産褥期の助産診断・アセスメントとケアの視点 助産過程の展開について 教科書(1)(2)(5)		岡部	
2	5/13（月）	産褥期のフィジカルアセスメント(2)		退行性変化のアセスメントとケア 産後のマイナートラブル、産褥期の出血および感染 教科書(1)(2)		岡部	
3	5/16（木）	産褥期のフィジカルアセスメント(3)		退行性変化を促すためのケアのポイント 教科書(1)(2)		岡部	
4	6/18（火）	産褥期のフィジカルアセスメント(4)		進行性変化のアセスメントとケア 教科書(1)14章、(2)4章		阿部	
5	6/25（火）	産褥期のフィジカルアセスメント(5)		進行性変化を促すためのケアのポイント 母乳育児支援、乳頭亀裂、乳房うっ積・うっ滞、乳腺炎の原因、発生因子、予防策 教科書(1)14章、(2)4章		阿部	
6	5/22（水）	産褥期のフィジカルアセスメント(6)		心理・社会的状態のアセスメントとケア 親役役割獲得の支援 母乳育児のできない母親への支援 教科書(1)(2)		北川	
7	5/28（火）	産褥期における指導 (1) 退院後の生活		退院後の母児の生活 産褥2週間、産後1か月における変化 乳がんスクリーニングと必要性 教科書(1)(2)(5)		北川	
8	5/29（水）	産褥期における指導 (2) 家族計画		産褥期の性機能、産道および腹壁の復古 産後の避妊法の実際 様々な対象に合わせた家族計画指導の実際 【課題①】グループ学習 教科書(1)(2)(7)		北川	
9							
10	6/5（水）	医療介入した褥婦の支援		帝王切開術後の褥婦のケア 分娩経過と術後経過に合わせた助産ケア 【課題②】グループ学習 教科書(1)(3)		北川	
11							
12	7/1（月）	産褥期の助産技術(1)(2)		褥婦の健康診査に必要な助産技術の実践 全身の観察、子宮底測定と悪露交換、輪状マッサージ 産褥体操、骨盤底筋運動 演習 教科書(6)		岡部・高橋 北川・稲井 非常勤教員	
13							

14	7/2 (火)	産褥期の助産技術(3) (4)	母乳育児支援 授乳、マッサージ、ポジショニング、ラッチオン、 乳頭・乳輪部の浮腫の軽減、搾乳 演習 教科書(1) (2)	阿部
15				
16	6/10 (月)	産褥期の助産過程(1)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 正常に経過する褥婦の助産過程の展開の整理 記録の整理と PP 学習のオリエンテーション 教科書(4)(5)【課題③／グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
17	6/10 (月)	産褥期の助産過程(2)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 診断過程の展開 情報収集 分析 診断 教科書(4) (5)【課題③／グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
18	6/12 (水)	産褥期の助産過程 (3)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 実践過程の展開(1) 計画の立案 教科書(4) (5)【課題④／グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
19	6/17 (月)	産褥期の助産過程(4)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 実践過程の展開(2) 個別保健指導計画書の作成① 教材、媒体の工夫、作成 教科書(4) (5)【課題⑤／グループ学習】演習 PP	北川 岡部・高橋
20	6/19 (水)	産褥期の助産過程(5) (6)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 実践過程の展開(5)《発表資料の作成》 教科書(3) (4) 【課題⑤／グループ学習】演習PP	北川 岡部・高橋
21	6/20 (木)			
22	7/2 (火)	産褥期の助産過程(7)	ペーパーペイシェントによる事例の展開【発表】 演習PP ～事例の異なる小グループに分かれて意見交換～ 1) 事例紹介 2) 産褥経過の説明 3) 診断産過程(分析・診断・統合)の説明 4) 実践過程(目標・計画・保健指導案の説明) 5) 意見交換・評価	北川・稲井 岡部・高橋 非常勤教員
23	7/4 (木)	産褥期の助産過程 (8)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 【まとめ】 【課題⑥／グループ学習】 産褥期における助産過程および保健指導の課題	北川

履修者へのコメント：

(1) 履修条件

- ① 本学専攻科の『学習マニュアル』を参照し、演習前に事前学習とチェックリストによる「子宮底の測定・悪露交換」「乳房の観察」の学習をして臨んでください。
- ② <注意>成績評価は、総合評価になります。しかし、定期試験 100 点満点において 60 点に達していない場合は、再試験の対象となります。単位取得できなかった場合は、後期実習において「周産期援助実習」「分娩期援助実習」を履修することはできません。

(2) 履修にあたっての心構えと要望

- ① 産褥期の病態生理、心理社会的特徴、看護技術に関連する科目の予習・復習をして臨んでください。(30 分程度)
- ② 講義・演習には積極的に参加し、随時質問してください。
- ③ 第8回、第9回の講義では、【課題①】として基本的な避妊方法のメリット、デメリットを事前学習して臨んで下さい。
事前学習を基にグループ学習を行います。
- ④ 第10-11回の講義では帝王切開術後の褥婦のケアについてグループワークします。周産期の健康科学での学びをベースに助産過程を展開します。【課題②】として帝王切開術後の看護について事前学習をして臨んで下さい。
- ⑤ 第16～23回のペーパーペイシェント学習（*以降、「演習PP」とする）では、『学習マニュアル』を活用して授業を行います。具体的な進め方や発表について十分熟読し、個人学習・グループ学習に積極的に臨んで下さい。
【課題③】【課題④】【課題⑤】【課題⑥】は、講義内にフィードバックを行います。
- ⑥ 技術演習では、本学で作成した『学習マニュアル』を使用します。配付資料とテキストと共に熟読してください。

オフィスアワー：質問は、講義時間内もしくは講義終了後、平日 8:30～17:30 に来てください。

教科書：

- (1) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期、第6版、医学書院
- (2) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2024年版)産褥期のケア新生児期・乳幼児期のケア、第1版、日本看護協会出版会。
- (3) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2024年版)ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、日本看護協会出版会。
- (4) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断、第5版、医学書院、2021。
- (5) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック、第6版、2020。
- (6) 我部山キヨ子、大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション、第2版、医学書院、2018。
- (7) 堀内茂子・片岡弥恵子編：助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ、医学書院。

参考書：

- (1) NPO法人日本ラクテーションコンサルタント協会：母乳育児支援スタンダード、第2版、医学書院、2015。
- (2) 根津八紘：新乳房管理学、諏訪メディカルサービス、2022。
- (3) 堤尚子：堤式乳房マッサージ法：理論と実際、たにぐち書店、2002。
- (4) 新道幸恵、和田サヨ子：母性の心理社会的側面と看護ケア、医学書院、1990。
- (5) 沢内徹：親と子のきずなはどうつくられるか、医学書院、2001。
- (6) 編集北村俊則：事例で読み解く 周産期メンタルケアの理論 産後うつ病発症メカニズム理解のために 医学書院、2007。
- (7) 我部山キヨ子編：助産学講座3 基礎助産学[3] 母子の健康科学、第6版、医学書院。
- (8) 吉田敬子、山下洋、鈴宮寛子監修：妊娠中から始めるメンタルヘルスケア第2版、日本評論社、2019。
- (9) 平澤美恵子、村上睦子：新訂版写真でわかる母性看護技術アドバンス、インターメディカ、2020。

授業科目の区分		助産診断・技術学				R6 (2024) 年度
授業科目名	コース/ナンバー	内 訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担 当 教 員
新生児期の健康科学	9205	講義	前期	必修	1／30	側島 久典
概 要：胎生期からの発達・発育を含め、胎外生活へ向けての病態生理と治療、蘇生の実際について学ぶ。						國方 徹也
目 的：胎生期から新生児、乳児期への発達・発育の過程でおこる病態生理の特殊性と、短期・長期予後を学習し、母子看護に必要な知識・技術を修得する。						本多 正和 加部 一彦
到達目標：1. 胎内生活から胎外生活への適応生理、発達生理について説明することができる。 2. 新生児の異常を診断し対応できるための知識を理解することができる。 3. 新生児蘇生に必要な知識・技術を習得することができる。						<非常勤講師> NCPR インストラクター
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1) (2) (3)						
成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）・口頭試験(90%)、学習態度(10%) 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験・口頭試験、学習態度を総合的に評価する。						
回	月/日 (曜)	授業項目	内 容			担当者
1	5/14 (火)	出生前小児科学 (1)	胎児の生理、成長と発達、出生前育児学 教科書(1)、配付資料			側島
2	5/14 (火)	出生前小児科学 (2)	遺伝子病、染色体異常、胎芽病、胎児病 出生前診断と治療 教科書(1)、配付資料			側島
3	5/15 (水)	胎児の発育	胎児の発育曲線と子宮内発育遅延の原因と予後 教科書(1)、配付資料			國方
4	5/21 (火)	新生児の出生時の適応生理	胎内生活から胎外生活への移行 教科書(1)、配付資料			側島
5	5/21 (火)	新生児と低出生体重児の定義と分類	新生児と低出生体重児の定義、分類、生理的特徴 疫学、保健統計 教科書(1)、配付資料			側島
6	5/28 (火)	早産児・低出生体重児の疾患	先天奇形、分娩外傷、低出生体重児の代表的な疾患 教科書(1)、配付資料			側島
7	5/28 (火)	早産児・低出生体重児のケア	低出生体重児の保育環境（栄養、感染防止、母子接触） 教科書(1)、配付資料			側島
8	7/10 (水)	新生児仮死	新生児仮死の病態と救急蘇生法の理論 教科書(1) (2)、配付資料			國方
9 10 11	7/10 (水)	新生児蘇生法演習 (1) (2) (3)	1. 演習準備 2. 新生児仮死、救急蘇生法の実技演習 「一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 公認 新生児蘇生法普及事業 Aコース 新生児蘇生法〔専門〕コース」を学内で開催 3. 復習とふり返り 教科書(2)			國方 本多 非常勤講師

12	6/4 (火)	新生児の異常	新生児の異常徴候 教科書(1)、配付資料	側島
13	6/4 (火)	新生児の疾患 (1)	呼吸・循環器疾患 教科書(1)、配付資料	側島
14	5/17 (金)	新生児の疾患 (2)	中枢神経系の発達 教科書(1)、配付資料	加部
15	5/17 (金)	新生児の生命倫理	新生児医療における生命倫理的問題、フォローアップ 教科書(1)、配付資料	加部
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2) 履修にあたっての心構えと要望 ①概要に該当する部分を予習(30分以上)して授業に臨んでください。 ②授業後は授業内容を復習(30分以上)してください。 (3) 日本周産期・新生児医学会の新生児蘇生法普及事業について 既にNCPR 専門コース(Aコース)を取得しているものは、履修の際に専攻科教員に申し出ること。 新生児蘇生の実践ができるように十分な事前学習をして臨むこと。				
オフィスアワー：質問は授業終了後に教室にて受け付ける。				
教科書： (1)石井邦子、廣間武彦編：助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3]新生児期・乳幼児期 第6版、医学書院、 (2)細野茂春監修：改訂第4版 日本版救急蘇生ガイドライン 2020 に基づく新生児蘇生法テキスト、メジカルビュー社、2021.				
参考書： (1) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2024年版)産褥期のケア新生児期・乳幼児期のケア、第1版、日本看護協会出版会、 (2) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2024年版)ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、日本看護協会出版会、				

授業科目の区分		助産診断・技術学					R6(2024)年度
授業科目名		コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担 当 教 員
新生児期の助産診断・技術学		9206	演習	前期	必修	1／30	北川 典子
概 要：専門科目として助産診断・技術学に位置づけされている科目であり、新生児期にある対象の生理的特性を理解し母体外生活に適応できるよう援助する方法を修得する。助産師の専門的な基礎助産技術(助産診断、助産技術)を理解する。							稲井 洋子
目 的：新生児の助産過程の展開に必要な知識・技術・態度を養う。							岡部 史恵
到達目標：1. 新生児期の生理的变化を理解し、胎外生活適応を促すケアが説明できる。 2. 医療介入を必要とする新生児のケアとその家族への支援が説明できる。 3. 母子・父子の家族関係形成への支援がわかる。 4. 新生児のケアに必要な助産技術が安全安楽に実施できる。 5. 正常な経過の新生児の出生後と新生児訪問における助産過程の展開ができる。							高橋 紗耶香
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 ／(1)(2)(3)							<非常勤教員>
成績評価方法：1. 定期試験（筆記試験）（70％） 2. 演習（20％） 3. 学習態度(10%)							
成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験、演習、学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日 (曜)	授業項目	内 容				担当者
1	5/8 (水)	新生児のフィジカルアセスメント (1)	出生後 24 時間以内のアセスメントとケア 早期新生児のアセスメントとケア 成長発達を促すケア 教科書(1)(2)(6)				高橋
2	5/13 (月)	新生児のフィジカルアセスメント (2)	正常から逸脱が予測される場合の対応 退院後の新生児の経過、疾病・障害の対応、 発育発達評価、養育支援、マスキング、聴覚検査 教科書(1)(2)(3)				高橋
3	5/21 (火)	新生児のフィジカルアセスメント (3)	早産児・低出生体重児とその家族へのケア 医療介入を必要とする新生児のケア 保育器内の新生児の取り扱い 教科書(1)(2)(3)				高橋
4	5/23 (木)	新生児に必要な助産技術 (1)(2)	出生直後の新生児の観察（バイタルサインと全身の観察） 新生児の計測（児頭計測、身体計測） 教科書(6)(7) 演習				高橋・岡部 北川・稲井 非常勤教員
5							
6	5/30 (木)	新生児に必要な助産技術 (3)(4)	沐浴、ドライテクニック、衣類の交換、おむつ交換、 抱き方、寝かせ方、ミルク授乳、排気のさせ方 教科書(6)(7) 演習				高橋・岡部 北川・稲井 非常勤教員
7							
8	6/10 (月)	新生児の助産過程(1)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 正常に経過する新生児の助産過程の展開の整理 情報の整理と診断過程（出生直後～退院まで） 実践過程 教科書(1)(2)(4)(5) 【課題①／グループ学習】 演習PP				北川 岡部・高橋
9	7/2 (火)	新生児の助産過程(2)	ペーパーペイシェントによる事例の展開 教科書(1)(2)(4)(5) 演習 PP発表				北川 岡部・高橋

10	6/28 (金)	新生児訪問の助産過程 (1)	新生児訪問における助産過程の展開 生後20日目の新生児訪問計画、オリエンテーション 情報収集の整理と診断過程の展開 教科書(1)(2)(4)(5) 【課題②／グループ学習】 演習PP	北川 岡部・高橋
11	7/1 (月)	新生児訪問の助産過程 (2)	ペーパーペイシェントによる助産過程の展開 生後20日目の新生児の訪問 実践過程の展開 教科書(1)(4)(5) 【課題②／グループ学習】 演習PP	北川 岡部・高橋
12	7/4 (木)	新生児訪問の助産過程 (3)	ペーパーペイシェントによる助産過程の展開 実践過程の展開 教科書(2)(5) 【課題②／グループ学習】 演習PP	北川 岡部・高橋
13	7/8 (月)	新生児訪問の実践 (1)(2)	助産過程を元に新生児訪問の実践 (生後20日目) 配付資料 演習	北川・稲井 岡部・高橋 非常勤教員
14				
15	7/8 (月)	新生児訪問の実践 (3)	まとめと今後の課題、社会資源の活用と多職種の連携 教科書(1)	北川
履修者へのコメント：				
(1)履修条件：				
①新生児期の健康科学の単位を修得していることが望ましい。				
②<注意>成績評価は、総合評価になります。しかし、定期試験 100 点満点において 60 点に達していない場合は、再試験の対象となります。単位取得できなかった場合は、後期実習において「周産期援助実習」「分娩期援助実習」を履修することはできません。				
③『学習マニュアル』にある技術確認を各自が事前に行った上で演習に臨んで下さい。				
(2)履修にあたっての心構えと要望				
①新生児の健康科学の講義から疾患についての病態や治療、予後など該当する内容について予習(30分以上)して授業に臨んでください。				
②『学習マニュアル』にある技術確認を各自が事前に行った上で技術演習に臨んで下さい。				
③新生児の助産過程（＊以降、「演習 PP」とする）は、個人学習【課題①】をもとにグループ学習を行い展開します。進め方の詳細は『学習マニュアル』を参照ください。				
④第 10 回～第 15 回は、【課題②】生後 20 日目の新生児訪問における助産過程の展開（＊以降、「演習 PP」とする）を行い、その場面演習を行います。				
⑤技術演習は、事前学習を十分に行い、根拠に基づき正確かつスムーズにできるように準備して下さい。				
オフィスアワー：質問は、授業時間内もしくは講義終了後に来て下さい。（平日 8：30～17：30）				
教科書：				
(1) 石井邦子、廣間武彦編：助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ [3] 新生児期・乳幼児期 第 6 版、医学書院。				
(2) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト 第 6 巻(2024 年版) 新生児期・乳幼児期のケア、第 1 版、日本看護協会出版会。				
(3) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第 7 巻(2024 年版) ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第 1 版、日本看護協会出版会。				
(4) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断、第5版、医学書院、2021。				
(5) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック、第6版、2020。				
(6) 平澤美恵子、村上睦子監修：新訂版写真でわかる助産技術アドバンス、インターメディカ、2021。				
(7) 我部山キヨ子、大石時子編：助産師のためのフィジカルイグザミネーション、第2版、医学書院、2018。				
参考書				
(1) 平澤美恵子、村上睦子監修：新訂版写真でわかる母性看護技術アドバンス、インターメディカ、2020。				

授業科目の区分		地域母子保健					R6（2024）年度
授業科目名		コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担 当 教 員
地域母子保健学Ⅰ		9301	講義	前期	必修	1／15	本橋 千恵美
概 要：地域母子保健を推進するための知識を習得するとともに、社会資源の活用や保健医療福祉機関と連携・協働した地域母子保健活動の意義について学ぶ。特に、安心して子どもを産み、健やかに育てるための家庭や地域の役割について、その活動方法やプロセスについて学ぶ。							
目 的：地域における母子保健活動を理解し、地域の特性をアセスメントして、母子の環境改善に向けた助産師活動ができる能力を養う。							
到達目標：１．地域母子保健の意義及び母子保健の現状と動向を理解する。 ２．地域母子保健行政の体系及び活動の実態を理解する。 ３．地域母子保健における助産師の役割について述べることができる。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 ／(3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 ／(1) DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う／(1)(2)							
成績評価方法：定期試験（筆記試験）（80％）、学習態度(20％) 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日(曜)	授業項目	内 容				担当者
1	4/9（火）	母子保健の現状と動向	１．人口動態統計・母体保護統計 ２．母子保健をめぐる諸問題と課題 ３．地域母子保健行政の体系 教科書(1) 第1.2章				本橋
2	4/9（火）	母子保健制度と母子保健施策①	１．健康診査・保健指導・療養援護 ２．医療対策・予防接種 ３．エンゼルプランと新エンゼルプラン 教科書(1) 第3章				本橋
3	4/16（火）	母子保健制度と母子保健施策②	１．健康日本21と健やか親子21 ２．子ども・子育て応援プランと次世代育成支援対策行動計画 教科書(1) 第3章				本橋
4	4/16（火）	地域母子保健活動の展開	１．関係機関との連携 ２．地域母子保健ニーズの把握 ３．地域母子保健ニーズの施策化 教科書(1) 第4章				本橋
5	4/23（火）	地域母子保健の意義と住民活動	１．社会環境の変化と母子保健 ２．地域の特性と地域母子保健 教科書(1) 第4章				本橋
6	4/23（火）	地域母子保健活動〔1〕	１．行政機関 ２．母子保健推進員・愛育班 ３．病院・診療所・助産所 教科書(1) 第5章				本橋

7	4/30 (火)	地域母子保健活動 [2]	1. 切れ目のない支援 2. 社会的ハイリスクな母子の支援 3. 地域子育て支援 教科書(1) 第5章	本橋
8	4/30 (火)	国際化時代の母子保健	1. 母子保健と国際協力 2. 国連ミレニアム開発計画 3. 文化としての妊娠・出産 教科書(1) 第6章	本橋
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望および課題 ①授業開始時に授業に用いる資料を配付するので、毎回持参すること。 ②履修にあたって予習・復習それぞれ30分以上してください。 ③課題に対するフィードバックは授業内で解説します。				
オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。				
教科書： (1)我部山キヨ子編：助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健、第6版、医学書院。				

授業科目の区分		地域母子保健					R6（2024）年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員	
地域母子保健学Ⅱ	9302	講義	前期	必修	1／15	稲 井 洋 子	
概 要： 地域母子保健の概念を基に、地域で生活する母子の特性について学び、4か月頃迄の育児支援について学ぶ。子どもの正常な経過および乳幼児の健康診査方法（問診・視診・触診・諸計測）さらに産後訪問の視点について学ぶ。						加部 一彦	
目 的：産後期にある母子と家族の特徴と社会的特徴を理解し、健康な生活を送るための援助について理解を深める。 子どもの発達を捉える観点、健康診査の方法、地域で生活する家族への具体的な支援方法を理解する。						斎藤 俊子	
到達目標：1. 産後期にある母子の特徴について理解し、健康診査の方法および支援方法について説明することができる。 2. 子どもの発達（「発達・成長の保障」、「情緒の安定」、「生命の保持」の視点）の概要について理解できる。 3. 子どもの発達に応じた健康診査の意義と内容を説明できる。 4. 子どもに起こりやすい疾患とその予防、治療を受ける乳幼児の療育経過が分かる。 5. 子どもと家族を取り巻く環境と健康増進のための援助について説明できる。							
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 ／(3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 ／(1) (2) (3) DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う／(1) (2)							
成績評価方法： 1. 定期試験（筆記試験）(90%)、 2. 学習課題（10%） 成績評価基準： 本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度を総合的に評価する。							
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者	
1	6/10（月）	産後期の助産診断	1. 産後期とは 1) 産後期の特徴 2) 産後期の助産診断 ①乳幼児に対する健康診査について（近年の改正事項） ②産後期の経過診断〔1か月健診後～4か月まで〕 ・母体の状態 ・児の状態（※2-3回目） ③産後期の健康生活診断 教科書(5) (6)			稲井	
2	5/24（金）	子どもの発達と健康診査	1. 発達への理解 1) 子どもの発達を理解することの意義 発育・発達の原則、身体発育の評価、身体発育曲線 2) 子どもの発育と環境 身体発育に影響する因子、発育の異常			加部	
3	5/24（金）		2. 胎児期からの発達 1) 生涯発達と発達援助 2) 生理機能の発達 自律神経、子どもの体温、子どもの水分代謝、睡眠 3) 運動機能の発達 「反射」と運動機能、運動機能通過率曲線			加部	
4	5/31（金）		4) 精神機能の発達 様々な精神機能の発達、ことば、社会性、情緒 精神運動機能の評価、精神発達に影響する因子 5) 子どもの発育とあそび			加部	

5	5/31 (金)	(前頁続き) 子どもの発達と 健康診査	3. 発達への援助と健康診査の補助 1) 基本的生活習慣の獲得と発達援助 2) 発達の課題に応じた援助や関わり 3) 乳幼児の健康診査〔1か月・3か月健康診査・他〕 年齢に応じた健康診査項目と具体的な診察方法 4. 子どものかかりやすい疾病・事故と予防 1) かかりやすい疾病 2) 疾病予防と予防接種、予防接種の実際 3) 子どもの事故とその予防 5. ハイリスク乳幼児の治療と経過〔その他の健康診査〕 1) 低出生体重児 2) 先天奇形・先天異常のある児 3) 精神・運動発達遅滞のある児 4) 特殊な状況下にある児 教科書 (1) (2) (3) (4)	加部
6	6/20 (木)	地域における 子育て支援	1. 地域における子育て支援の意義と実際 1) 子育て世代包括支援センター事業 2) 孤立しない育児への取り組み〔地域での友達づくり〕 3) 訪問に必要な技術〔1か月健診以降の訪問〕 (1) 訪問前の情報収集 (2) 訪問時の注意点〔訪問時のマナー〕 (3) 健康診査の実際 ①母体の状態を評価する ・身体的状態 ・乳房の状態 (4) 評価とおよび保健指導と継続支援・他職種連携 (5) 産後期の助産過程の展開に向けて 教科書(1) (2) (3) (4) (5) (6) 配付資料 【課題①】産後期の助産過程の展開／記録用紙の作成	斎藤
7	6/20 (木)	〔乳児家庭全戸訪問〕	教科書(1) (2) (3) (4) (5) (6) 配付資料 【課題①】産後期の助産過程の展開／記録用紙の作成	斎藤 稲井
8	6/25 (火)	母親のDV 虐待を受けている・受けて いると推測される乳幼児	1. DV(domestic violence)について 定義、特徴と実態、被害女性への援助 DV環境下の子ども 2. 虐待とその予防および早期発見について 日本における虐待の実態、虐待を疑う状況 虐待をなくすための対策 配付資料	稲井
履修者へのコメント： (1)履修条件なし (2)履修にあたっての心構えと要望 ①該当する部分のテキストを読み、予習して授業に臨んでください。(30分程度) ②次回授業に向けて参考文献等を活用し復習をして、授業に臨んでください。(30分程度) (3) 課題について 【課題①】産後期に実施される「乳児家庭全戸訪問」時に必要な情報と分析すべき項目および他職種へ連携を図るための視点を網羅させた記録用紙を作成します。 【個人作業】 ・使用する人物設定：地域で活動する助産師 ・用紙の設定：自由、枚数制限無し〔実用的なサイズと書式とすること〕 ・提出期限：2024年 本科目6回目終了した1週間後の16時30分迄《短大4階 稲井》				

オフィスアワー：授業終了後に教室で質問を受け付けます。
教科書： (1) 石井邦子、廣間武彦編：助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3] 新生児期・乳幼児期、第6版、医学書院。 (2) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2024年版)産褥期のケア／新生児期・乳幼児期のケア、第1版、日本看護協会出版会。 (3) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第7巻(2024年版)ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、日本看護協会出版会。 (4) 福岡地区小児科医会入場時保健委員会編：乳幼児健診マニュアル、第6版、医学書院、2019。 (5) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック 第6版、医学書院、2020。 (6) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断、第5版、医学書院、2021。
参考書： (1) 我部山キヨ子、菅原ますみ編：助産学講座4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学、第6版、医学書院。 (2) 二宮啓子、今野美紀編：看護学テキスト NiCE 小児看護学Ⅰ小児看護学概論・小児看護学技術改訂第4版 子どもと家族を理解し力を引き出す、南江堂、2022。 (3) 日本助産師会 産後ケアガイド改訂特別委員会編：助産師のための産後ケアガイド2023、公益社団法人日本助産師会出版。

授業科目の区分		助産管理				R6（2024）年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担 当 教 員
助産管理	9401	講義	通年	必修	2／30	稲井 洋子 武藤 光代 山口 次子 谷島 春江 中島 桂子
概 要：助産業務に必要な管理の原則、病院や助産所における管理に必要な知識とその体制、妊産褥婦と子どもおよびその家族に必要な助産業務の管理について学ぶ。						
目 的：助産管理の基本と助産師の義務・責任、関係法規と病院・診療所や助産所の助産業務および助産管理とリスクマネジメントの実際について修得する。 助産における倫理について、グループワークを通して自己の考えを明確にする。						
到達目標：１．助産業務の特性と医療連携について説明できる。 ２．病院における助産業務管理の実際を説明できる。 ３．助産所の管理・運営に必要なことを説明できる。 ４．種々のガイドラインの活用について説明できる。 ５．災害時における助産師の役割と業務について説明できる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う／(1) (2)						
成績評価方法：１．定期試験（筆記試験）（80％） ２学習態度・レポート(20％) 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、定期試験（筆記試験）・学習態度を総合的に評価する。						
回	月/日(曜)	授業項目	内 容			担当者
1	4/12（金）	助産管理における マネジメント(1)	1. 助産管理学とは 2. マネジメントの定義とマネジメントサイクル 3. 助産におけるマネジメントの実際 教科書(1) (6)			稲井
2	4/18（木）	助産管理における マネジメント(2)	1. 助産師の業務範囲、助産管理の定義、助産業務管理の特性について 2. 助産師の法的責任と義務・責任 3. 助産業務管理におけるリスクマネジメント 4. 助産に関連した医療政策 教科書(1) (6)			稲井
3	5/22（水）	大学病院における 管理と管理体制	病院の管理体制と助産師の役割 教科書(1)			武藤
4	6/11（火）	病院・診療所における 助産管理(1) 産科病棟の管理	産科病棟・助産外来の管理体制と助産師の役割 ①施設における助産師の役割と他部門との連携の実際 ②快適な出産環境のための設備管理の実際 ③多種多様な医療従事者の管理体制と協働の実際 ④産科診療施設の役割と助産サービス管理の実際 ⑤「助産業務ガイドライン」に基づいた院内助産の実際 教科書(1)			山口
5	6/11（火）	病院・診療所における 助産管理(2) 助産外来の管理				山口
6	7/12（金）	周産期管理システム(1) MFICU の管理	MFICU・NICUにおける助産管理 ①MFICU・NICUの役割について ②周産期医療ネットワークの役割			谷島
7	7/12（金）	周産期管理システム(2) NICU の管理	③オープンシステムや周産期医療システムの必要性 教科書(1)			谷島

8	6/27 (木)	助産所における 助産管理 (1)	関係法規と助産所の管理 (経営) ①施設における助産師の役割・責務、他部署との連携 ②快適な出産環境のための設備管理の実際 ③管理体制と協働の実際 ④助産所や出張分娩介助における分娩管理の実際 ⑤助産所の多様な機能と役割の実際 ⑥「助産業務ガイドライン」に基づいた助産ケアの実際 ⑦助産所開業におけるコスト管理について ⑧助産評価機構等の第三者評価の受診と必要性 教科書(1) (2) (3)	中島
9	6/27 (木)	助産所における 助産管理(2)		中島
10	7/5 (金)	助産師の行う 医療安全と危機管理	1. 医療安全対策とケアの保証 ①助産現場における報告・連絡・相談と記録 ②記録の重要性和改ざん・違法性 2. 医療安全管理体制 ①産科医療保障制度 ②医療事故調査制度 ③助産師のケアの保証 [アドバンス助産師など] 3. 助産師の健康と安全 教科書(1) (4) (7)	稲井
11	7/8 (月)	災害時における 助産師の役割と業務(1)	1. 災害と災害看護の実際 災害の定義、災害看護とは、災害の種類 災害の発生状況、災害への備え 等 2. 災害時の助産ケア 教科書(1) (4) (7)	稲井
12	1/9 (木)	助産管理と倫理 (1)	助産業務や助産管理における倫理 (グループワーク) ※ICMの「助産師の倫理綱領」等の資料	稲井
13	1/9 (木)	助産管理と倫理 (2)	助産業務や助産管理における倫理 (まとめ・課題1 レポート作成) ※ICMの「助産師の倫理綱領」等の資料	稲井
14	1/9 (木)	助産管理の今後の課題 (1)	助産業務や助産管理の今後の課題 (グループワーク) 教科書(2) (3) (5) ※産科保障制度再発防止委員会からの提言集を持参する	稲井
15	1/9 (木)	助産管理の今後の課題 (2)	助産業務や助産管理の今後の課題 (まとめ・課題2 レポート作成) 教科書(2) (3) (5)	稲井

履修者へのコメント：

(1) 履修条件

助産課程での学びから12月(12～15回)に助産業務と助産管理について実習体験に基づくグループワークを行いますので、修了要件を満たす助産学実習の単位取得が必要です。

(2) 履修にあたっての心構えと要望および課題

①該当する部分のテキストを読み、予習して授業に臨んでください。(30分程度)

②次回授業に向けて参考文献等を活用し復習をして、授業に臨んでください。(30分程度)

③前期と後期にまたがる科目です。後期の授業を履修の際には、前期の授業内容を復習して臨んでください。特に助産師の行動指標となる「産婦人科診療ガイドライン産科編2023」と「助産業務ガイドライン」を熟読して下さい。

④課題について、グループワーク時・レポート作成等の授業内で解説します。

(3) 【課題1】12回-13回は、助産業務や助産管理における倫理について、ICMの「助産師の倫理綱領」をもとに助産学実習の体験をふまえて意見交換し自らの考えをレポートします。パソコン等の準備をして授業に臨んでください。

(4) 【課題2】14回-15回は、助産業務や助産管理の今後の課題について、1年間の学びと今後の展望について意見交換し自らの考えをレポートします。パソコン等の準備をして授業に臨んでください。

※課題レポートは、入学時に配布した「学習マニュアル」に基づき作成してください。授業後に提出(時間厳守)。

1800字以内(用紙size ; A4、文字数45×40行、上下左右25mmで設定、表紙不要、上部に学籍番号と氏名記載、1枚)

オフィスアワー： (1) 授業終了後に教室で質問を受け付けます。 (2) 授業時間外の質問は、研究室 22 までお越しください。
教科書： (1) 我部山キヨ子編：助産学講座10 助産管理、第6版(2022年改訂)、医学書院。 (2) 成田伸編：助産師基礎教育テキスト 第3巻(2024年版) 周産期における医療の質と安全 第1版、日本看護協会出版会。 (3) 日本助産師会編集・監修：助産業務ガイドライン2019、日本助産師会出版、2019。 (4) 日本助産師会編集・監修：助産所開業マニュアル 2021—開設・管理・運営— (2021年版)、日本助産師会出版、2021。
参考書： (1) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2023、日本産婦人科学会事務局、2023。 (2) 公益財団法人母子衛生研究会編：母子保健の主なる統計 令和6年刊行、母子保健事業団、2024。 (3) 財団法人母子衛生研究会編：わが国の母子保健 令和6年、母子保健事業団、2024。 (4) 産科医療保障制度 再発防止委員会からの提言集 第1回報告書～第13回報告書、日本医療機能評価機構、2023。 (5) 日本助産師会編集・監修：助産師が行う災害時支援マニュアル2017年改訂版、日本助産師会出版会、2017。 (6) 福井トシ子編集：臨床助産テキスト：第4巻 重要な周辺知識、メディカ出版、2016。

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習					R6 (2024) 年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
周産期援助実習	9501	実習	通年	必修	3／135	北川 典子
概 要：助産診断・技術学での知識・技術・態度をもとに、臨地・助産学実習において継続ケースを通して妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期、産褥1か月までの母子に関わり、助産過程の展開と助産ケアについて学ぶ。妊娠期の助産過程については、様々な事例に関わり学ぶ。						稲井 洋子
目 的：継続ケースとその家族と信頼関係を築き、妊娠期から育児期を通して主体的で安全安楽な周産期とするための助産ケアを学ぶ。						岡部 史恵
到達目標：1. 妊婦健康診査を受ける妊婦の助産過程の展開ができる。 2. 継続ケースの妊娠期から産後期の助産過程の展開を行い、ウェルネスの観点から支援ができる。 3. 母子とその家族にとって妊娠・出産・育児期がより良い体験となる様に継続した助産ケアができる。 4. 母子とその家族の愛着形成と親役割獲得のための助産ケアができる。 5. ハイリスク新生児の助産ケアがわかる。						高橋 紗耶香
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 / (1) (2) (3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 / (1) (2) (3) DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う / (1) (2) DP4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力 / (1) (2)						<非常勤教員>
成績評価方法：1. 実習記録・内容50%（前期＋後期） 2. 助産技術(20%) 3. 実習態度（30%）						
成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、実習記録・助産技術・実習態度を総合的に評価する。						
主要内容						
1. 周産期援助実習の概要：1) 前期実習施設のオリエンテーションを受け、自分の実習行動をイメージする。 2) 周産期援助実習の目的、目標について理解する。 3) 前期実習では、妊娠期の助産診断（初期、中期・末期）を実施する。 4) 継続ケースの妊娠期・産褥期・新生児期・産後1か月まで助産過程の展開をする。 5) ハイリスク新生児実習として6～7人のグループに分かれ1日ずつ、埼玉医科大学総合医療センターで見学実習を行う。 ※詳細は実習要項参照 2. 継続ケースと継続ケース以外の妊娠期の助産過程の展開 1) 妊娠経過に応じた変化、正常な経過から逸脱しないよう生活指導を実施する。 2) 助産過程の追加、修正、評価を行う。 3) 妊娠期に必要とされる個別指導計画の実施・評価をする。（食事指導、生活指導、入院の時期など） 3. 継続ケースの帝王切開術を見学し、ハイリスク分娩について学習する。 4. 継続ケースの産褥期・新生児期の助産過程を展開 1) 産褥期に必要とされる個別指導計画の実施・評価をする。（生活指導、育児技術指導、家族計画など） 2) 継続ケースの新生児に対し出生後2時間からの助産過程の展開を行う。また、追加・修正を行い、実施した援助の評価を行う。日々、日常生活上の援助を実施する。 5. 継続ケースの1か月健診(もしくは2週間健診)に立ち会い、実施した援助が適切であったか文献を用いて評価する。 ※実習期間に実施できない場合は、他学生の継続ケースの許可を得て、立ち会うことで補う。						
履修者へのコメント						
(1)履修条件:実習施設の感染症抗体価の基準をみたしている学生。 前期実習は、妊娠期の助産診断・技術学の単位を修得していること。後期実習においては、分娩期の助産診断・技術学および産褥期の助産診断・技術学、新生児の助産診断・技術学の単位を修得していること。						

(2) 履修にあたっての心構えと要望および課題

- 1) 既習の学習である妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の助産過程の展開を振り返り、実習で活用できるように準備する。
- 2) 前期実習では、継続ケースと外来を受診する妊娠初期、中期・末期の妊婦の助産診断を実施する。
妊娠期の助産診断技術学、新生児診断学と助産管理でのNICUの管理を復習して臨むこと。
- 3) 後期実習では、継続ケースの帝王切開術の見学のため、事前課題として継続ケースに対する1.産科麻酔
2.帝王切開術と縫合 3.術前看護 4.術中看護 5.術後看護についてまとめる。

事前課題は、9月9日（月）朝8時50分までに科目責任者のMailボックスに提出する。

継続ケースは、帝王切開を予定する妊婦を選定するが、状況により経膣分娩の妊婦が選定されることもある。

※詳細は実習要項を参照してください。

- 4) 該当する部分のテキストを読み、予習・復習をして実習に臨んで下さい。(30分程度)

(3) その他

- 1) 実習に関する連絡は、実習担当教員に適時確認してください。
- 2) 実習に関する質問は、実習時間内に積極的にしてください。

オフィスアワー：実習に関する質問、相談は積極的に担当教員の指導を受けて下さい。

教科書：

- (1) 日本助産診断実践学会編：実践マタニティ診断 第5版 医学書院、2021.
- (2) 森恵美編：助産師基礎教育テキスト 第4巻(2024年版) 妊娠期の診断とケア、第1版、日本看護協会出版会.
- (3) 町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト 第5巻(2024年版) 分娩期の診断とケア、第1版、
日本看護協会出版会2.
- (4) 江藤宏美編：助産師基礎教育テキスト 第6巻(2024年版) 新生児期・乳幼児期のケア、第1版、
日本看護協会出版会.
- (5) 我部山キヨ子、武谷雄二編：助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期、第6版、医学書院
- (6) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期、第6版、医学書院
- (7) 石井邦子、廣間武彦編：助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3]新生児期・乳幼児期、第6版、医学書院

※その他：入学後に「母子健康手帳」を教材として購入します

参考書：

- (1) 日本助産診断実践研究会著：マタニティ診断ガイドブック 第6版 医学書院、2020.
- (2) 自主的に求める

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習					R6（2024）年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
分娩期援助実習	9502	実習	後期	必修	6／270	北川 典子
概 要：助産診断・技術学での知識・技術・態度をもとに臨地・助産学実習において、ひとりの産婦を受け持ち分娩第1期から分娩後2時間まで継続的に関わり、助産過程の展開、分娩介助について学ぶ。						稲井 洋子
目 的：既習の知識・技術を統合して産婦の助産過程を展開し、助産師としての責任を自覚した態度と行動を取り、医療チームの一員としての役割を遂行できる。						岡部 史恵
到達目標： 1. 分娩経過中の母児の状態を診断できる。 2. 分娩期にある産婦の援助ができる。 3. 分娩介助を実施できる。 4. 分娩による身体的・精神的状況を診断し援助ができる。 5. 母児の愛着形成過程を理解し、援助ができる。 6. 医療チームの一員として助産師の役割ができる。						高橋 紗耶香
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 ／(1)(2)(3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 ／(1)(2)(3) DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う／(1)(2) DP4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力 ／(1)(2)						〈非常勤教員〉
成績評価方法：1. 実習記録（50%） 2. 助産技術（30%） 3. 実習態度（20%） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、実習記録・助産技術・実習態度を総合的に評価する。						
主要内容						
1. 分娩期援助実習の概要 1) 分娩期援助実習の目的・目標について理解できる。 2) 実習施設オリエンテーションより概要を理解できる。 2. 産婦の助産過程の展開 1) 母児の経過が診断できる。 2) 産婦の健康生活状態を診断できる。 3) 分娩経過にあわせた呼吸法の指導と産痛緩和法を実施できる。 4) 精神・心理・社会的生活行動の援助ができる。 5) 出産育児行動の援助ができる。 6) 分娩第1期から分娩後2時間までの援助を実施する。 ※詳細は、実習要項参照 3. 出生直後の新生児を診断し、援助ができる。						
履修者へのコメント (1)履修条件:妊娠期の助産診断・技術学、分娩期の助産診断・技術学、産褥期の助産診断・技術学、新生児期の助産診断技術学の単位を修得していること。 (2)履修にあたっての心構えと準備 ※詳細は実習要項、オリエンテーションを参照してください。 (3)その他 ①実習に関する連絡は実習担当教員に適時確認してください。 ②実習に関する質問は実習時間内に積極的にしてください。						
教科書： (1) 我部山キヨ子、藤井知行編：助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期、第6版、医学書院。 (2) 町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト 第5巻(2024年版) 分娩期の診断とケア 第1版、日本看護協会出版会。 (3) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編 2023、日本産婦人科学会事務局、2023。 (4) 日本助産診断実践学会編：マタニティ診断ガイドブック 第6版、医学書院、2020。 (5) 小林康江編：助産師基礎教育テキスト 第7巻（2024年版） ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、第1版、日本看護協会出版会						
参考書：自主的に求める						

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習					R6（2024）年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
地域母子保健実習	9503	実習	前期	必修	1／45	北川 典子
概要：地域母子保健学を基盤として、埼玉県内の市町村の保健センターにおいて展開されている母子保健事業に参加し、多職種と連携、協働しながら実際に地域住民の母子保健を推進するための能力を高める。						稲井 洋子
目的：地域の保健センターにおける母子保健活動の実際から地域の現状と周産期にかかわる助産師の役割と多職種との連携について理解を深める。						
到達目標： 1．地域の特性、地域住民の母子保健のニーズを理解できる。 2．地域母子保健事業の推進に必要な協力体制の実際を理解できる。 3．地域母子保健事業における助産師の役割と多職種の連携について考察できる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 ／(1) (2) (3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 ／(1) (2) (3) DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う／(1) (2) DP4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力 ／(1) (2)						
成績評価方法：1．実習記録・課題（事前・課題レポート、実習記録、日々の記録など）（70％）、2．実習態度（30％） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、実習記録・実習態度を総合的に評価する。						
主要内容						
1．地域母子保健実習の概要：オリエンテーションを通して、地域の特性と母子保健事業の現状と課題を把握する。 2．母子保健事業の見学・参加：母子保健事業を通して、地域で生活する母子の現状を知る。また、事業にかかわる関連職種の連携から母子保健活動の実際を学び理解を深める。 3．妊婦・新生児・乳幼児家庭訪問：妊婦や新生児・乳幼児の家庭訪問に同行し、家庭での母子の健康生活を理解する。 4．社会の変化と母子保健について理解する：課題学習を通して、安心して子どもを産み健やかに育てるための家庭や地域の役割、継続したケアの連携について理解し、活動方法についてテキスト、授業資料、参考図書を用いて考察する。 5．実習カンファレンス：①参加した市町村の特徴と地域母子保健事業 ②地域母子保健事業の実際と振り返り 						

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習					R6（2024）年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
助産管理実習	9504	実習	後期	必修	1／45	稲 井 洋 子
概 要：助産所における助産業務の実際を理解し、経営・マネジメントの実際について学ぶ。						
目 的：助産所における助産業務・管理（経営）の実際を学び、助産業務の特性と助産師の法的責任・義務・助産所の役割について理解する。 開業助産師の立場から、女性と家族が健やかな生活を送るための母子保健活動と関係機関との連携について学ぶ。						
到達目標：１．助産所における助産業務と管理の実際を理解できる。 ２．開業助産師の役割・義務・業務の範囲と法的責任について理解できる。 ３．関連機関との連携による地域母子保健活動の展開を理解できる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力　／(1) (2) (3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力　／(1) (2) (3) DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う／(1) (2) DP4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力　／(1) (2)						
成績評価方法：　１．実習記録（80％）　２．実習態度（20％） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、実習記録・実習態度を総合的に評価する。						
主要内容						
1. オリエンテーション 各実習施設のオリエンテーション（施設の概要について） 2. 助産所における助産業務の実際〔＊許可を得て可能であれば見学・一部体験させて頂く〕 1) 助産所管理と運営 （1）経営管理について助産師より説明　（2）災害対策について聴取もしくは見学　（3）地域交流　他 2) 妊婦のケア （1）妊娠期の健康診査　（2）保健指導の実施 3) 産婦のケア （1）分娩経過　（2）分娩介助の見学 4) 褥婦のケア （1）褥婦の健康診査　（2）乳房管理 5) 新生児のケア （1）新生児訪問　（2）新生児の計測、沐浴 6) 産後ケア （1）アウトリーチ型、デイサービス型、ショートステイ型のケア見学もしくは活動の説明を受ける 7) 乳幼児のケア （1）乳幼児訪問 3. 実習カンファレンス 1) 助産所経営・マネジメントの実際について （1）業務管理　（2）施設管理　（3）人事管理　（4）経営管理など 2) 助産所で取り扱う妊産褥婦と新生児について 3) 学生・指導者・教員と共に考察 4. 実習まとめ および 各実習施設の発表 1) 各助産所の活動等について実習グループ毎に発表準備をする。 実習中に資料準備として、施設内の撮影の許可を貰っておくと良い。 対象者が撮影された資料については施設と本人の許可を必ず貰い使用する。 2) グループ毎にプレゼンテーションし意見交換 3) 自己評価表の作成と今後の課題の明確化						

履修者へのコメント： (1) 履修条件なし (2) 履修にあたっての心構えと要望および課題 ①【事前課題】 ・実習目標に沿って、事前学習したレポートを実習開始前（初日の朝 もしくは 帰校日）に提出する。 ・実習する助産院の地区の情報、HPを事前に確認して臨んでください。（120分程度） ②該当する部分のテキストを読み、予習して実習に臨んでください。（30 分程度） ③体験や実践について参考文献等を活用して振り返り（30 分～1 時間程度）実習に臨んでください。 (3) 質問などの受け付け： 実習期間中、随時 質問を受け付けます。
オフィスアワー： (1) 実習中に随時、質問を受け付けます。 (2) 時間外の質問は、研究室 22 稲井までお越しください。
教科書： (1) 日本助産師会編集・監修：助産所開業マニュアル2021-開設・管理・運営-（2021年版）、日本助産師会出版、2021. (2) 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科診療ガイドライン-産科編2023、 日本産婦人科学会事務局、2023. (3) 我部山キヨ子編：助産学講座10 助産管理 第6版、医学書院 (4) 日本助産師会編集・監修：助産業務ガイドライン2019、日本助産師会出版、2019.
参考書： (1) 我部山キヨ子、安達久美子編：助産学講座1 基礎助産学[1] 助産学概論 第6 版、医学書院 (2) 工藤美子編：助産師基礎教育テキスト第1巻(2024年版)、助産概論/母子保健 第1版、日本看護協会出版会 (3) 看護行政研究会編：看護六法、令和 5 年版、新日本法規出版株式会社、2023.

授業科目の区分	臨地実習／助産学実習					R6（2024）年度
授業科目名	コースナンバー	内訳	開講時期	必修・選択	単位／時間	担当教員
健康教育実習	9505	実習	通年	選択	1／45	稲井 洋子
概要：健康教育の基礎的な理論をもとに対象にあわせた健康教育の実施を通して、集団指導技術の基礎を身につける。						北川 典子
目的：1. 集団指導の企画・運営を通して、健康教育の意義を理解する。 2. 集団指導を実施し、効果的な指導方法を学ぶ。						
到達目標：1. 集団指導の理論、原理を理解できる。 2. 対象の特性とニーズに応じた健康教育の企画書を作成できる。 3. 対象に応じた健康教育を実施できる。 4. 助産師として集団指導を実施する意義を明確にすることができる。						
修了認定・ディプロマポリシー〔学修成果〕との関連： DP1. 広範な視野と高い見識を培う能力 ／(1) (2) (3) DP2. 高い専門性を持った実践能力を培う能力 ／(1) (2) (3) DP3. 地域の医療水準の発展に貢献する姿勢を培う／(1) (2) DP4. 助産師としての専門的自立能力を培う能力 ／(1) (2)						
成績評価方法：企画・運営の準備（30％）、健康教育の実際（50％）、学習姿勢（20％） 成績評価基準：本科目の到達目標に対する到達度とし、運営・健康教育の実際・学習姿勢を総合的に評価する。						
主要内容						
1. オリエンテーション 1) 実施する健康教育の理解 (1) 健康教育の位置づけの把握 (2) 健康教育の目的と目標 (3) 健康教育に参加する対象の把握 (4) 健康教育のスケジュール確認 2. 健康教育の準備 1) 集団指導の見学 2) 指導案の作成・媒体の作成 3) 健康教育リハーサル 3. 健康教育の実施・評価 1) 健康教育の実際 2) 実施後の意見交換と課題検討						
履修者へのコメント (1) 履修条件：「健康教育」の単位が取得できなかった場合は、履修をすることはできません。 (2) 履修にあたっての心構えと要望 ① 担当する健康教育に関連する科目の予習と復習をして臨んでください。 ② グループで行う協働学習です。活発に意見交換し企画すること。 ③ 後期の助産学実習期間に他科目と平行して開講する科目となるため、履修生は十分なスケジュール管理を行い臨んでください。 ④ 担当施設の健康教育の一端を担います。途中で履修を辞退することのないようにしてください。 ⑤ 学生らしい態度と配慮をするよう心がけてください。 (3) 詳細は、別紙オリエンテーション用紙を参照してください。						
教科書： 随時提示する						
参考書： 随時提示する						

学校法人 埼玉医科大学

埼玉医科大学短期大学 2024 年度

2024年4月1日発行

埼玉医科大学短期大学
教務委員会

〒 350-0495

埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷3-8

電 話 049-276-1513

F A X 049-294-8604